



消防年報

平成30年版



さつまい町消防本部

令和元年発行

はじめに

この年報は、さつま町消防本部の現勢及び平成30年中の消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介し、理解と協力を得るため編集したものです。

また、この年報の統計資料は原則として暦年をもって表し、予算に関係のある事項については会計年度で作成し、それ以外のものについては当該表にそれぞれ記載した年月日現在をもって表してあります。

なお、統計上の割合（％）については、項目（欄）毎に小数点第1位表記（第2位を四捨五入にて算定）しているため、その合計が100%にならない場合があります。

令和元年12月

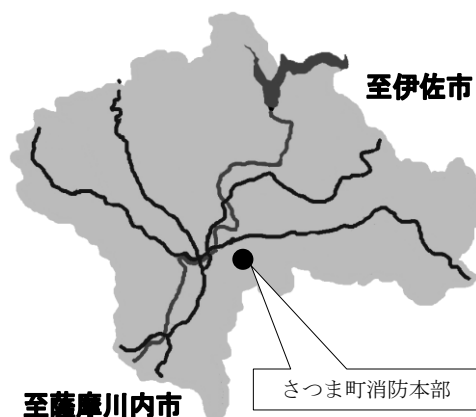
さつま町消防本部

～表紙の説明～

平成31年3月22日に開催された鶴田ダムナイトの様子です。

鶴田ダムは、高さ117.5m、ダム湖に貯まる水の量は1億2,300万 m^3 で、九州で2番目に長い川内川に建設された、九州最大規模を誇る重力式コンクリートダムとなっています。

鶴田ダムナイトでは、ダムの堤体が光のアートに彩られ、巨大なデジタル掛け軸となり、いつもとは違う幻想的な鶴田ダムの姿を見ようと、多くの人を訪れました。



目 次

▽ 消 防 情 勢

管内の位置・地勢・面積・人口・世帯数	1
消防本部の沿革	2～4
消防本部の組織図	5
歴代消防長	6
消防相互応援協定締結状況	6
消防本部の事務分掌	7～8
消防庁舎の概要	9～11
平成30年度消防予算額（当初）	12
消防力の整備指針と現況	13
消防水利の現況	13
職員の配置状況	14
職員の階級と勤務年数	14
職員の階級別年齢	15
職員の研修状況	15
職員の特殊技能資格状況	16
消防用車両	17
特殊機械器具	17

▽ 予 防

防火対象物現況と予防査察状況	18
中高層建築物現況	19
防火管理状況	20
消防法関係・火災予防条例等届出状況	21
消防同意事務処理状況	22
消防用設備等検査状況	23
防火対象物点検結果報告状況	23
広報活動実施状況	24
防火管理者資格取得講習会実施状況	25
危険物施設現況と査察状況	26
危険物施設数量・種類別状況	27
危険物規制事務処理状況	28
危険物規制事務手数料徴収状況	28
煙火消費許可事務及び手数料徴収状況	28

▽ 火 災

火災概要	29
火災概況	30
地域別発生状況	31
月別発生状況	32
曜日別発生状況	32
時間帯別発生状況	32
出動状況	33
現場到着所要時間	33
原因別火災発生状況	34
死傷者の発生状況	34
火災の発見媒体と発見後の行動	35
初期消火実施状況	35
初期消火実施者の分類	35
過去10年間の火災発生件数と損害額	36
火災以外の出動状況	37

▽ 救 急 ・ 救 助

救急概要	38
救急概況	39

地域別出動状況	40
月別出動件数	41
曜日別出動件数	41
時間帯別出動件数	42
覚知別出動件数	42
傷病程度別搬送状況	43
救急隊員の行った応急処置	43
年齢区分別搬送状況	44
現場到着所要時間別出動状況	45
医療機関収容所要時間別搬送人員	45
過去10年間の出動件数と搬送人員	46
救助概要	47
事故種別活動状況	48
傷病程度別救助人員	48
発生場所別救助人員	49
地域別出動状況	49

▽ 通 信

高機能消防指令センター構成図	50
消防通信	51
消防無線状況	52
専用回線（119番）着信状況	53
災害別覚知状況	54
月別医療機関照会状況	55
曜日別医療機関照会状況	55
災害等自動案内利用状況	55
防災行政無線設置場所一覧（屋外）	56

▽ 気 象

月別気象概況表	57
月別気温平年比較表	58
月別降雨量平年比較表	58
月別湿度平年比較表	59
月別風速平年比較表	59
火災気象通報及び気象警報発表時における火災発生状況	60

▽ 消 防 団

消防団の沿革	61
消防団の現勢	62
団員の階級別人員	62
団員の報酬（年額）	62
団員の手当（1回当り）	62
団員の勤続年数	63
団員の年齢	63
消防機械	64
消防団配置図	65
消防団出動区分	66

▽ 消 防 協 力 団 体

婦人防火クラブ	67
幼年消防クラブ	67
消防災害支援隊	67
自主防災組織	68～69
さつま町危険物安全協会	69

消防情勢

管内の位置・地勢・面積・人口・世帯数

消防本部の沿革

消防本部の組織図

歴代消防長

消防相互応援協定締結状況

消防本部の事務分掌

消防庁舎の概要

平成30年度消防予算額（当初）

消防力の整備指針と現況

消防水利の現況

職員の配置状況

職員の階級と勤務年数

職員の階級別年齢

職員の研修状況

職員の特殊技能資格状況

消防用車両

特殊機械器具

管内の位置・地勢・面積・人口・世帯数

当消防本部は、鹿児島県北西部に位置し、北は紫尾連峰を境に出水市・伊佐市・湧水町、東は霧島市、西及び南は薩摩川内市に接している。

管内中央部を流れる川内川は、延長137km、流域面積1,600km²におよぶ南九州第1の大河で、九州一の高さを誇る鶴田ダムや歌人と謝野晶子が讃えた轟の瀬、ホテルの大量群生地など四季を通じて自然の景観に恵まれている。



管内の面積・人口・世帯数

平成31年4月1日現在

面積(km ²)	人口(人)	世帯数(戸)
303.90	20,774	9,401

※ 人口・世帯数は推計人口による

消防本部の沿革

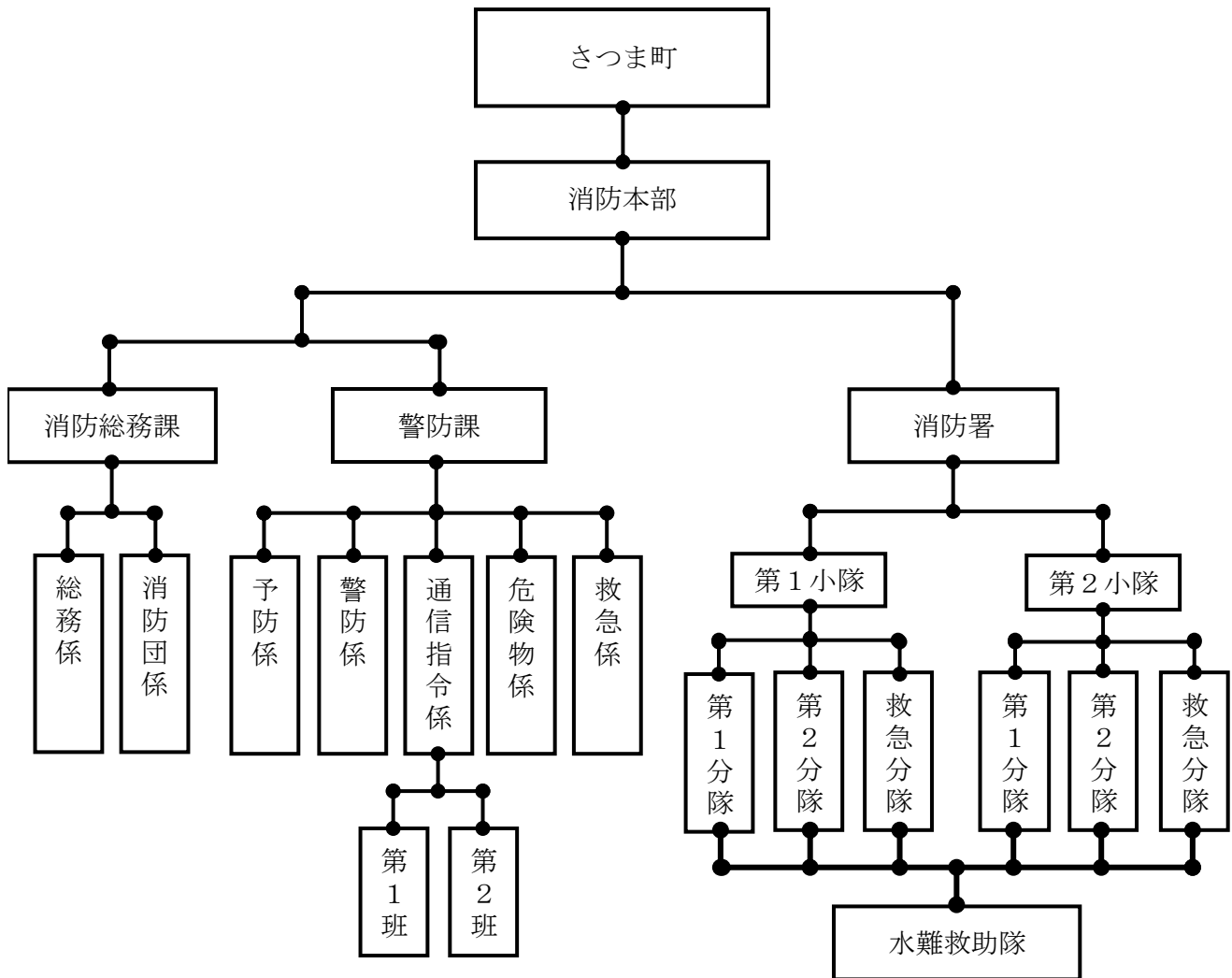
年 月	記 事
昭和51年 3月	川薩広域市町村圏協議会 基本計画策定
昭和54年 5月	〃 〃 広域消防救急システム推進研究部会発足
10月	〃 〃 4町(宮之城町・鶴田町・薩摩町・祁答院町)での設立決定
昭和55年 7月	祁答院地区消防組合の設立県知事許可
8月	祁答院地区消防組合発足
昭和56年 2月	大口市外三町消防組合と消防救急業務相互応援協定締結
3月	祁答院地区消防組合庁舎完成
4月	初代管理者 児玉 泰象 初代消防長兼消防署長 西之園 九郎 消防職員17名 その他の職員2名 消防本部及び消防署設置政令指定 消防及び救急業務を開始 祁答院地区消防組合職員定数条例(30人)施行
5月	川内地区消防組合と消防救急業務相互応援協定締結
昭和57年 4月	出水地区消防組合と消防救急業務相互応援協定締結
昭和58年 5月	手塚 機久郎 2代管理者に就任
6月	始良郡西部消防組合と消防救急業務相互応援協定締結
7月	祁答院地区消防組合紋章の制定
12月	木場 勝 2代消防長兼消防署長に就任
昭和61年 4月	貝崎 俊彦 3代消防長兼消防署長に就任
昭和62年 3月	非常用無線サイレンシステム完成
7月	東 伸太郎 3代管理者に就任
8月	(財)日本消防協会から「査察広報車」寄贈
昭和63年 10月	中尾 泰久 4代消防長兼消防署長に就任
平成元年 5月	さつま農業協同組合から「救急車」寄贈
11月	消防ポンプ自動車(BD-I型)購入
平成 2年 3月	庁舎増築工事完成
8月	田畑 勇 5代消防長兼消防署長に就任 日本特殊陶業株から「指揮車」寄贈
平成 3年 3月	(社)日本損害保険協会から「救急車」寄贈
4月	下菌 和三 6代消防長兼消防署長に就任
10月	専任署長制施行 田上 泉 7代消防署長に就任
平成 4年 4月	祁答院ゴルフ倶楽部から「マイクロバス」寄贈
平成 5年 9月	(社)日本損害保険協会から「水槽付消防ポンプ自動車」寄贈
平成 6年 4月	真崎 良二 7代消防長に就任 祁答院地区消防組合職員定数条例の一部改正(34人)施行
6月	(財)日本防火協会から「防火広報車」寄贈
12月	救助工作車購入
平成 7年 7月	北村 信之 4代管理者に就任
平成 8年 3月	水難救助用ボート購入
8月	祁答院地区消防組合職員定数条例の全部改正(41人)施行
10月	祁答院地区消防組合消防職員委員会を設置(委員総定数4人)施行
平成 9年 4月	岸良 勝利 8代消防長に就任
3月	26日17時31分鹿児島県北西部地震発生
5月	13日14時38分第2鹿児島県北西部地震発生
平成10年 3月	庁舎増築工事完成
平成10年 4月	川内地区消防組合と携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定締結
平成11年 4月	消防緊急通信指令システム(自治省消防庁I型)運用開始 さつま農業協同組合と鹿児島県共済農業協同組合連合会から「救急車」寄贈
平成12年 4月	高規格救急車運用開始
6月	査察広報車購入(祁答院地区危険物安全協会から一部補助)
12月	日本特殊陶業株から「指揮車」寄贈
平成13年 4月	水難救助隊発足(9名)
平成14年 4月	鬼塚 三武 9代消防長に就任
平成15年 3月	(社)日本損害保険協会から「高規格救急車」寄贈
平成16年 1月	消防ポンプ自動車(CD-I型)購入
10月	祁答院町が川内市他との市町村合併のため、祁答院地区消防組合を離脱
平成17年 3月	祁答院地区消防組合解散

年 月	記 事
平成17年 3月	市町村合併により、新町「さつま町」誕生 さつま町消防本部発足(職員定数42名施行) 田上 泉 さつま町消防本部初代消防長に就任、高木 卓朗 さつま町消防署初代消防署長に就任 職員2名を旧宮之城町役場職員から任用(実員41名) 機構改革(庶務係を総務係、危険物査察係を危険物係、企画広報係を消防広報係にそれぞれ名称変更、消防団係を新設)
4月	薩摩川内市と消防相互応援協定締結
9月	大口市と消防相互応援協定締結
11月	第8回全国消防広報コンクールにおいて防火読本「私たちの町を守る消防」が入選し消防庁長官表彰受賞
平成18年 2月	霧島市と消防相互応援協定締結
4月	職員2名採用(実員42名)
7月	22日鹿児島県北部豪雨災害発生
10月	出水市と消防相互応援協定締結
12月	日本特殊陶業(株)から「指揮車」寄贈 交通防災係から「連絡車」移譲
平成19年 6月	(財)九州特定郵便局長協会から災害救助用ゴムボート寄贈
平成20年 2月	フレーム式急速展張テント(通称「ドラッシュテント」)導入
4月	機構改革(消防課を新設、課長補佐職を新設、救助業務を警防係へ事務移譲し救急救助係を救急係へ名称変更)
平成21年 2月	伊佐湧水消防組合と消防相互応援協定締結
3月	伊佐市と消防相互応援協定締結
4月	職員1名採用(実員42名)
8月	機構改革(総務係と消防団係を統合し消防係を新設)
平成22年 2月	水槽付消防ポンプ自動車を更新、資機材搬送車を購入
4月	高木 卓朗 2代消防長に就任、市野 恵二 2代消防署長に就任 機構改革(消防本部次長職を廃止、消防係を総務係と消防団係へ分割、消防広報係を廃止し総務係と予防係へ事務移譲、危険物係を保安指導係とし予防係から予防査察業務を事務移譲) 職員2名採用(実員42名)
6月	救助工作車を更新
8月	消防緊急通信指令システムの一部更新
11月	さつま警察署とホットライン開設
12月	訓練塔改修工事 高規格救急車を更新
平成23年 3月	東日本大震災発生に伴う緊急消防援助隊鹿児島県隊派遣(宮城県) 一次派遣(2隊:救急部隊、後方支援部隊 5名)、二次派遣(同左 4名)
8月	訓練場舗装全面補修工事
平成24年 4月	若松 良尚 3代消防署長に就任 職員1名採用(実員42名)
平成25年 4月	職員1名採用(実員42名)
平成26年 2月	消防庁舎塔屋解体及び外壁改修工事施工
3月	連絡車を更新し広報車へ名称変更、広報車を連絡車へ名称変更
4月	職員3名採用(実員42名)
平成27年 2月	高規格救急車を更新
4月	消防救急デジタル無線運用開始 若松 良尚 3代消防長に就任、鯉坂 貞司郎 4代消防署長に就任 職員定数45名施行 職員1名採用(実員42名)
平成28年 4月	鯉坂 貞司郎 4代消防長に就任、東 恭一 5代消防署長に就任 職員5名採用(実員45名) 熊本地震発生に伴う緊急消防援助隊鹿児島県隊派遣(熊本県) 二次派遣(1隊:救急小隊 3名)
11月	庁舎改修工事施工(屋上防水・外壁塗装・女性用仮眠室増設等)

年 月	記 事
平成29年 4月	中間 博巳 5代消防長に就任、服部 智行 6代消防署長に就任 職員2名採用(実員46名) 職員定数48名施行 機構改革(保安指導係を危険物係とし、予防査察業務及び違反是正事務等を予防係へ事務移譲)
平成29年 11月	庁舎改修工事施工(2階庁舎LED化、天井張替、1・2階トイレ改修)
平成30年 4月	田中 俊朗 7代消防署長に就任 職員3名採用(実員48名) 機構改革(消防課を消防総務課と警防課へ分割し、消防総務課長と警防課長を新設)
平成31年 4月	田中 俊朗 6代消防長に就任、今西 信一 8代消防署長に就任 職員2名採用(実員48名)

消防本部の組織図

平成31年4月1日現在



役職員名

職 務	氏 名	職 務	氏 名
消防長	田中 俊朗	消防総務課長	下村 晴彦
警防課長兼消防署長	今西 信一	消防総務課長補佐兼消防団係長兼消防署長代理	木場 哲志

歴代消防長

平成31年4月1日現在

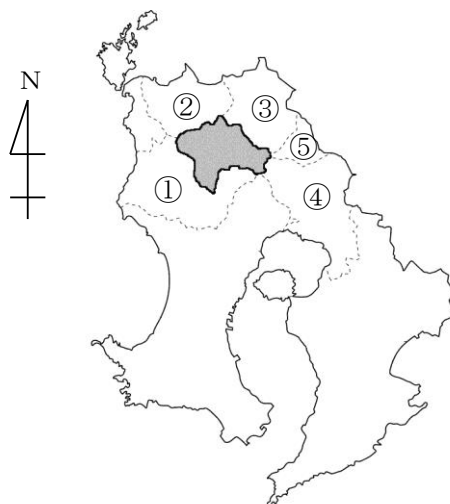
代	氏名	期 間	
		就任年月日	退任年月日
初	西之園 九郎	昭和56年 4月 1日	昭和58年11月30日
2	木場 勝	昭和58年12月 1日	昭和61年 3月31日
3	貝崎 俊彦	昭和61年 4月 1日	昭和63年 9月30日
4	中尾 泰久	昭和63年10月 1日	平成 2年 7月31日
5	田畑 勇	平成 2年 8月 1日	平成 3年 3月31日
6	下藪 和三	平成 3年 4月 1日	平成 6年 3月31日
7	真崎 良二	平成 6年 4月 1日	平成 9年 3月31日
8	岸良 勝利	平成 9年 4月 1日	平成14年 3月31日
9	鬼塚 三武	平成14年 4月 1日	平成17年 3月21日
初	田上 泉	平成17年 3月22日	平成22年 3月31日
2	高木 卓朗	平成22年 4月 1日	平成27年 3月31日
3	若松 良尚	平成27年 4月 1日	平成28年 3月31日
4	鯨坂 貞司郎	平成28年 4月 1日	平成29年 3月31日
5	中間 博巳	平成29年 4月 1日	平成31年 3月31日
6	田中 俊朗	平成31年 4月 1日	在任中

※ 網掛け部分□は旧祁答院地区消防組合の歴代消防長

消防相互応援協定締結状況

平成31年4月1日現在

番号	協定先	業務の種類	締結年月日
①	薩摩川内市	消防救急業務	平成17年 4月 1日
②	出水市	消防救急業務	平成18年10月 1日
③	伊佐市	消防業務	平成21年 3月16日
④	霧島市	消防救急業務	平成18年 2月 1日
⑤	伊佐湧水消防組合	消防救急業務	平成21年 2月 1日
※	県下市町村及び消防本部	大規模災害等	平成 4年 1月30日



消防本部の事務分掌

〈消防総務課〉

1 総務係

- (ア) 会議に関する事。
- (イ) 公印の保管に関する事。
- (ウ) 条例、規則等の制定改廃に関する事。
- (エ) 消防職員（以下「職員」という。）の任用、昇任、任免等の人事に関する事。
- (オ) 消防組織及び消防総合計画に関する事。
- (カ) 職場及び職員の安全管理並びに衛生管理に関する事。
- (キ) 予算経理に関する事。
- (ク) 物品の購入、出納、保管及び処分に関する事。（消防団の機械器具等を除く。）
- (ケ) 職員の貸与品に関する事。
- (コ) 庁舎その他財産の維持管理に関する事。
- (サ) 公務災害補償及び職員共済組合に関する事。
- (シ) 消防表彰に関する事。（消防団員を除く。）
- (ス) 職員の研修及び教養並びに消防学校の入校等に関する事。
- (セ) 職員の福利厚生に関する事。
- (ソ) 消防手数料の収納に関する事。
- (タ) 消防職員委員会に関する事。
- (チ) 他の係の所掌に属さない事務の処理に関する事。
- (ツ) 消防広報全般の企画に関する事。
- (テ) 消防統計及び消防情報に関する事。
- (ト) 消防年報及び広報紙の編集並びに発行に関する事。
- (ナ) 公聴処理及び報道機関との連絡調整に関する事。

2 消防団係

- (ア) 幹部会議等の行事に関する事。
- (イ) 消防団員（以下「団員」という。）の階級、任免、分限及び懲戒に関する事。
- (ウ) 団員の教養訓練に関する事。
- (エ) 団員の被服及び貸与品に関する事。
- (オ) 消防団の機械器具等の購入、維持管理及び保守点検に関する事。
- (カ) 消防団の保管備品に関する事。
- (キ) 団員の報酬、費用弁償等に関する事。
- (ク) 団員の公務災害補償に関する事。
- (ケ) 団員の表彰に関する事。
- (コ) 消防水利の設置事務に関する事。
- (サ) 分団との連絡調整に関する事。
- (シ) 消防協会薩摩支部との連絡調整に関する事。
- (ス) その他消防団事務に関する事。

〈警防課〉

1 警防係

- (ア) 消防計画及び警備計画に関する事。
- (イ) 火災、救助その他の災害等の警戒防ぎょに関する事。
- (ウ) 非常警戒及び非常招集の発令に関する事。
- (エ) 各種訓練に関する事。（救急訓練を除く。）
- (オ) 管内の地理及び水利調査に関する事。
- (カ) 相互応援協定に関する事。
- (キ) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (ク) 消防機械器具の維持管理及び点検に関する事。（消防団の機械器具を除く。）

- (ケ) 火災証明に関する事。
- (コ) 火災統計、火災報告、救助統計及び救助報告に関する事。
- (サ) 水難救助隊に関する事。
- (シ) 開発行為等の事前協議に関する事。

2 救急係

- (ア) 救急業務に関する事。
- (イ) 救急の訓練に関する事。
- (ウ) 救急資機材の維持管理に関する事。
- (エ) 救急統計及び報告に関する事。
- (オ) 応急手当の普及啓発に関する事。
- (カ) 医師会及び医療機関等との連絡調整に関する事。

3 通信指令係

- (ア) 火災、救急、その他災害情報の受理及び出動指令に関する事。
- (イ) 消防通信の運用及び統制に関する事。
- (ウ) 電話交換業務に関する事。
- (エ) 通信施設の維持管理及び保守点検に関する事。
- (オ) 通信訓練に関する事。
- (カ) 気象観測及び気象情報等の伝達に関する事。
- (キ) 職員に対する非常招集の発令及び解除の伝達に関する事。
- (ク) 消防団の招集に伴うサイレン吹鳴に関する事。
- (ケ) その他通信指令業務に関する事。

4 予防係

- (ア) 防火管理者の育成指導に関する事。
- (イ) 建築同意事務に関する事。
- (ウ) 消防用設備等の指導に関する事。
- (エ) 幼年婦人防火クラブの育成指導に関する事。
- (オ) 防火協力団体に関する事。(社会福祉施設等防災対策協議会を含む。)
- (カ) 予防統計、調査及び報告に関する事。(危険物に関するものを除く。)
- (キ) その他一般火災予防に関する事。
- (ク) 火災予防運動の計画に関する事。
- (ケ) 火災予防査察に関する事。
- (コ) 旅館、ホテルの消防法令適合通知書の交付及び防火対象物の表示等に関する事。

5 危険物係

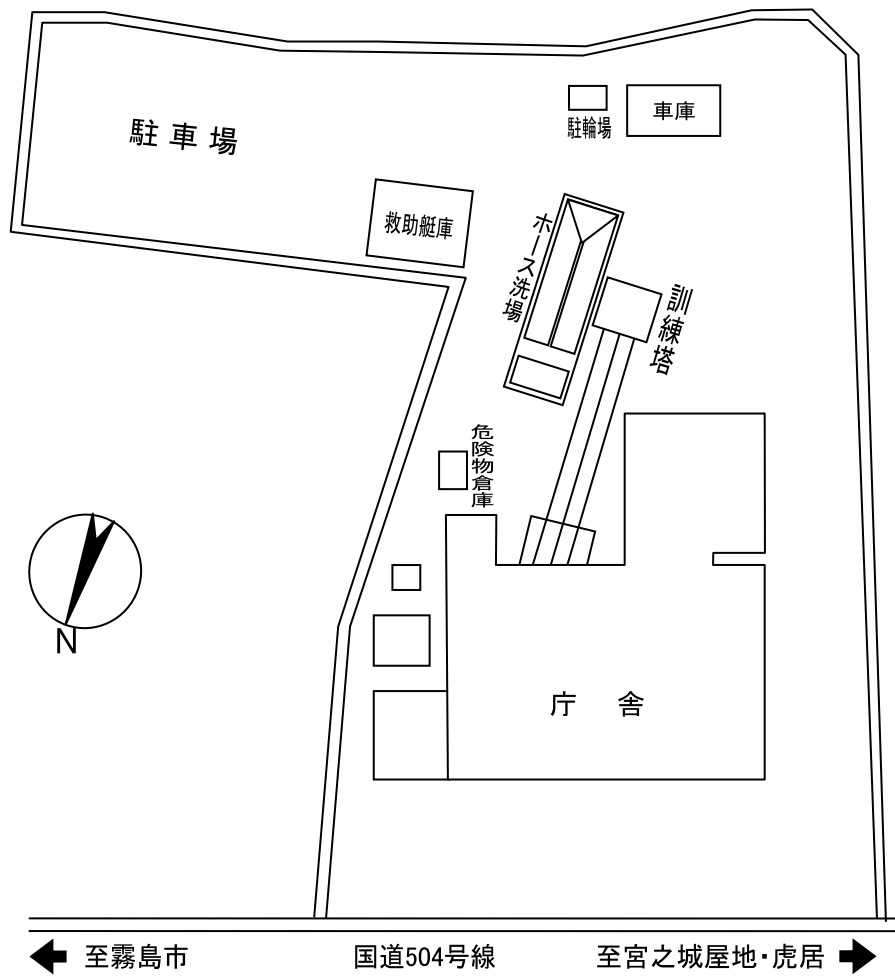
- (ア) 危険物の規制に関する事。
- (イ) 危険物貯蔵所等に対する立入検査に関する事。
- (ウ) 危険物取扱者及び危険物保安監督者の指導に関する事。
- (エ) 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関する事。
- (オ) 液化石油ガス販売事業許可等の意見書交付に関する事。
- (カ) 危険物貯蔵所等及び火災予防の違反処理に関する事。
- (キ) 鹿児島県事務処理の特例に関する条例(平成12年鹿児島県条例第7号)第2条の規定により市町村が処理することとされた事務に関する事。
- (ク) 危険物安全協会の事務に関する事。
- (ケ) 危険物規制事務の統計、調査及び報告に関する事。



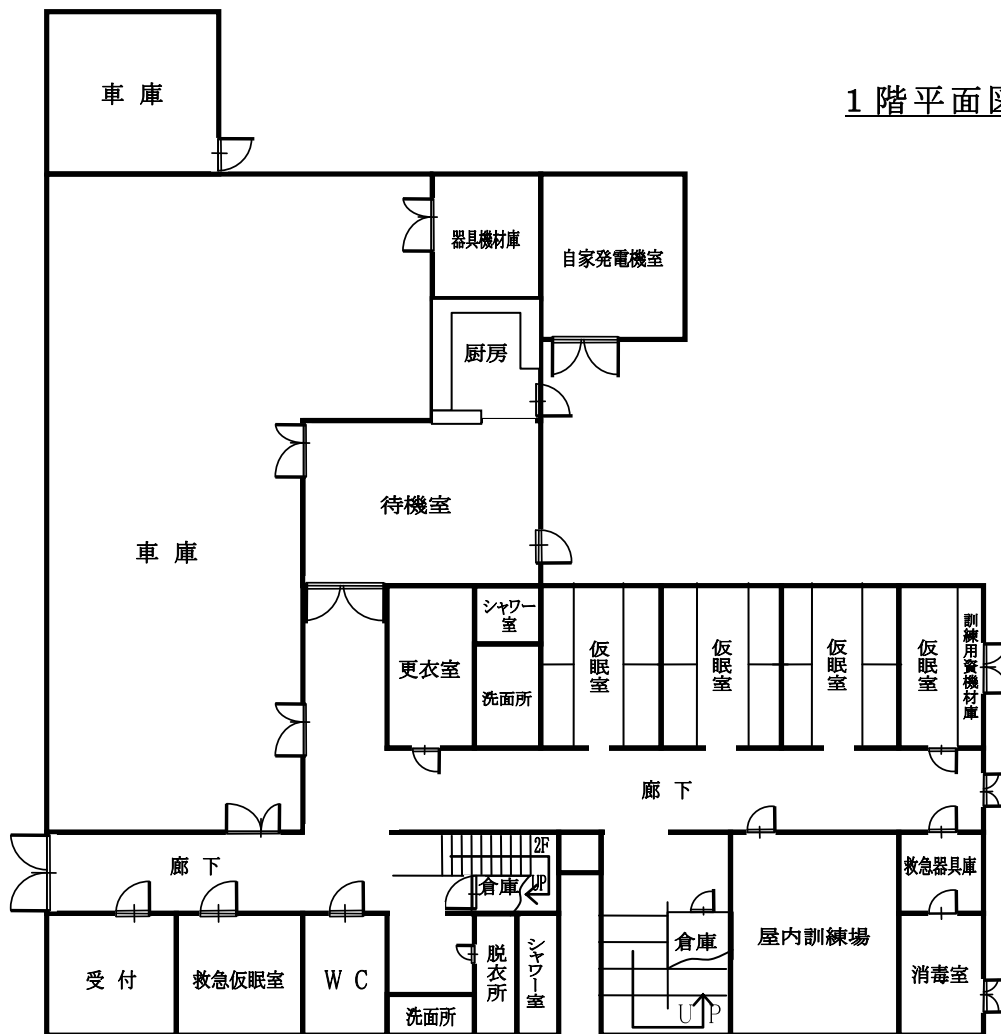
消防庁舎の概要

所在地	▽ 鹿児島県薩摩郡さつま町時吉366番地	
	▽ 郵便番号	895-1816
	▽ 代表電話番号	(0996)52-0119
	▽ FAX番号	(0996)53-0119
	▽ 災害発生時の自動案内	(0996)52-2201
	▽ ホームページアドレス	http://119.satsuma-net.jp/
	▽ e-mailアドレス	shobo@satsuma-net.jp
敷地面積	▽ 4554.27㎡	
庁舎建築面積	▽ 1541.13㎡	1階 630.175㎡
		2階 589.650㎡
		3階 157.775㎡
		PH1階 18.510㎡
		訓練塔・倉庫等 91.320㎡
		車庫・駐輪場 53.700㎡
建築構造	▽ 鉄筋コンクリート造3階建	
竣工年月日	▽ 昭和56年3月25日	

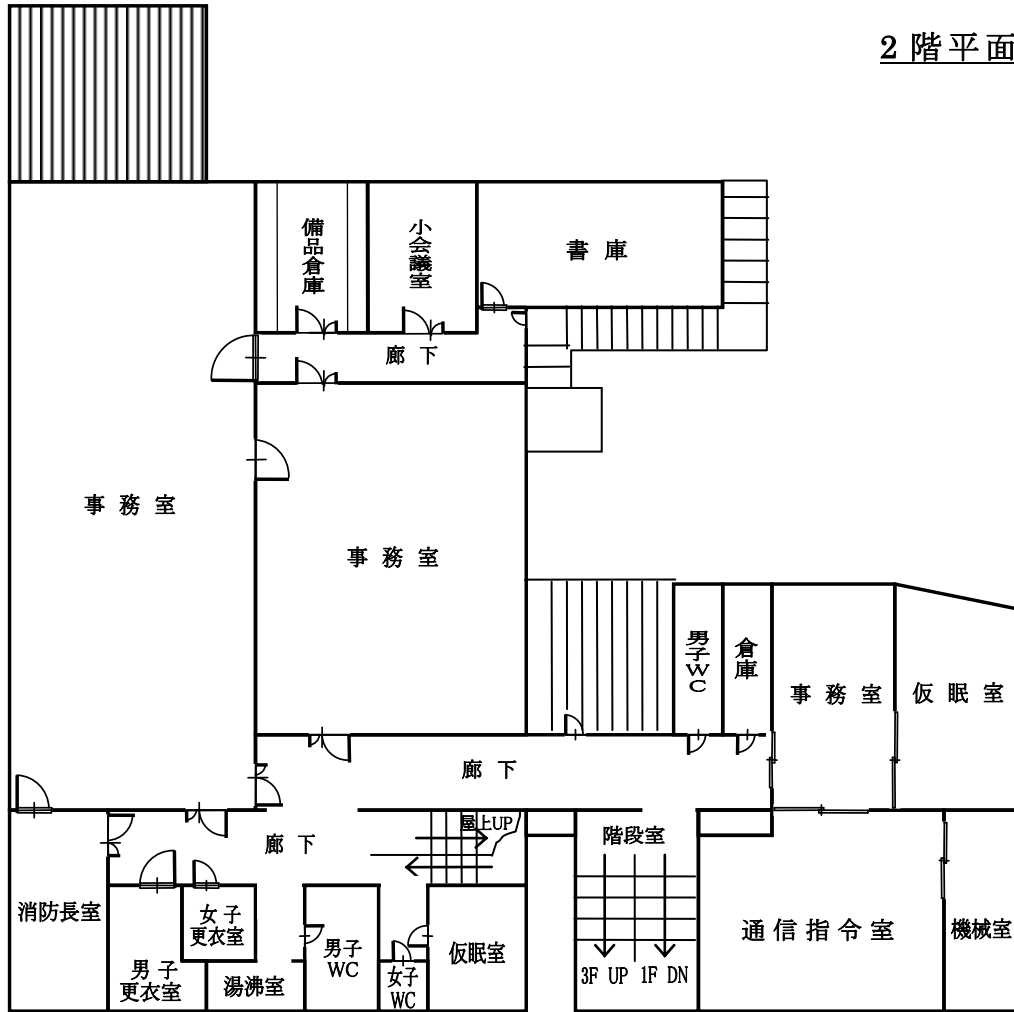
配置図



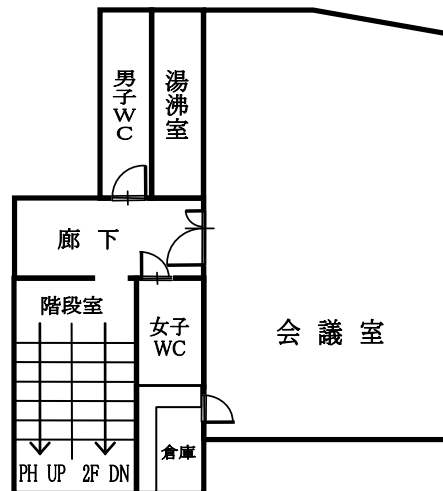
1階平面図



2階平面図



3階平面図



平成31年度消防予算額(当初)

(単位:千円)

款・項・目	節	平成30年度	平成31年度	比較増減
9. 消防費		1,639,496	596,463	△ 1,043,033
1. 消防費		1,639,496	596,463	△ 1,043,033
1. 常備消防費		385,132	380,291	△ 4,841
	給料	164,132	159,438	△ 4,694
	職員手当等	100,929	102,574	1,645
	共済費	53,819	52,155	△ 1,664
	賃金	0	0	0
	報償費	165	165	0
	旅費	3,207	3,049	△ 158
	需用費	13,046	12,945	△ 101
	役務費	3,178	3,409	231
	委託料	1,003	1,246	243
	使用料及び賃借料	583	474	△ 109
	原材料費	98	70	△ 28
	備品購入費	0	0	0
	負担金補助及び交付金	44,972	44,766	△ 206
	公課費	0	0	0
2. 非常備消防費		72,159	69,913	△ 2,246
	報酬	19,632	19,527	△ 105
	報償費	1,406	1,300	△ 106
	旅費	34,299	32,553	△ 1,746
	需用費	4,651	4,357	△ 294
	役務費	20	24	4
	委託料	94	0	△ 94
	使用料及び賃借料	46	46	0
	負担金補助及び交付金	12,011	12,106	95
3. 消防施設費		181,656	121,044	△ 60,612
	旅費	0	0	0
	需用費	4,910	5,230	320
	役務費	1,867	1,766	△ 101
	委託料	11,855	10,003	△ 1,852
	使用料及び賃借料	1,886	1,904	18
	工事請負費	83,124	19,270	△ 63,854
	原材料費	600	600	0
	公有財産購入費	0	0	0
	備品購入費	74,391	79,056	4,665
	負担金補助及び交付金	2,201	2,301	100
	公課費	822	914	92
4. 災害対策費		1,000,549	25,215	△ 975,334
	報酬	114	114	0
	職員手当等	7,500	7,500	0
	報償費	130	130	0
	旅費	132	107	△ 25
	需用費	5,548	4,264	△ 1,284
	役務費	1,974	2,718	744
	委託料	16,854	6,657	△ 10,197
	使用料及び賃借料	526	689	163
	原材料費	0	0	0
	工事請負費	965,369	0	△ 965,369
	公有財産購入費	1,016	0	△ 1,016
	備品購入費	0	1,815	1,815
	負担金補助及び交付金	1,336	1,208	△ 128
	補償補填及び賠償金	0	0	0
	積立金	25	13	△ 12
	公課費	25	0	△ 25

消防力の整備指針と現況

平成31年4月1日現在

種 別 \ 区 分	基準数	現有数	過不足数	充足率 (%)
署所	1	1	0	100
消防ポンプ自動車	2	2	0	100
救急自動車	2	2	0	100
救助工作車	1	1	0	100
指揮車	1	1	0	100
非常用消防ポンプ自動車	1	0	△ 1	0
非常用救急自動車	1	1	0	100
消防職員数	84	48	△ 36	57.1

消防水利の現況

平成31年4月1日現在

区 分 \ 地域別		宮之城	鶴 田	薩 摩	合 計
消 火 栓	公設	222	126	125	473
	私設				
防 火 水 槽 (公 設)	20m ³ 以上40m ³ 未満	29	1	6	36
	40m ³ 以上100m ³ 未満	95	65	25	185
	100m ³ 以上				
防 火 水 槽 (私 設)	20m ³ 以上40m ³ 未満	57	8	24	89
	40m ³ 以上100m ³ 未満		3	3	6
	100m ³ 以上				
そ の 他	河溝等	102	29	32	163
	プール	11	5	5	21
	濠池等	1			1

職員の配置状況

平成31年4月1日現在

階級		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
消防長		1							1
消防総務課	消防総務課長		1						1
	消防総務課長補佐		(1)						(1)
	総務係			1		1		2	4
	消防団係		1	1	1			1	4
警防課	警防課長		1						1
	警防課長補佐								
	予防係			2	2	4	4		12
	危険物係			2		1	1		4
	警防係			2	3	2	4		11
	救急係			3			1		4
	通信指令係		1	2	1	2			6
合計		1	4 (1)	13	7	10	10	3	48 (1)
署	署長		1						1
	署長代理		1						1
	小隊長			2					2
	小隊長代理			2					2
	分隊長			7	5				12
	分隊長代理				1				1
	隊員					8	10		18
小計			2	11	6	8	10		37

※ 消防総務課長補佐職（）数は、消防団係長を兼任

※ 署員は消防総務課・警防課職員と兼務

職員の階級と勤務年数

平成31年4月1日現在

階級		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
年数									
3年未満							7	3	10
3年～5年						6	3		9
6年～10年						4			4
11年～15年					3				3
16年～20年					2				2
21年～25年				7					7
26年～30年				4	2				6
31年～35年			1	2					3
36年以上		1	3						4
合計		1	4	13	7	10	10	3	48

職員の階級別年齢

平成31年4月1日現在

階級 年齢	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	合計
18歳～20歳						4		4
21歳～25歳					2	4		6
26歳～30歳					7	2	1	10
31歳～35歳				1	1		1	3
36歳～40歳			2	2				4
41歳～45歳			6	3				9
46歳～50歳			5	1			1	7
51歳～55歳		1						1
56歳以上	1	3						4
合計	1	4	13	7	10	10	3	48
平均年齢	56	56	44	40	29	24	44	40

職員の研修状況

平成31年4月1日現在

階級 科目	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計	
消防学校	初任科	1	4	13	7	10	45	
	初級幹部科	1	4	4			9	
	中級幹部科	1	2	1			4	
	上級幹部科						0	
	救助科	1	3	6	4	2	16	
	予防科（含予防査察科）	1	4	7	3	3	18	
	警防科		2				2	
	火災調査科		2	7	4	1	14	
	救急	救急Ⅰ課程	1	4	7	2		14
		救急Ⅱ課程	1	4	5	2		12
救急科（含標準課程）				7	5	10	26	
気管挿管講習		1		4	1		6	
薬剤追加講習 （ブドウ糖・心停止前輸液）				5	3		9	
救急救命士研修	1		8	3	1	13		
薬剤追加講習（アドレナリン）	1		5	2		8		
指導救急救命士養成研修			1			1		
消防大学校			1			1		

職員の特殊技能資格状況

平成31年4月1日現在

種別	階級	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士	事 務 吏 員	合 計
第1種普通自動車							5		5
第1種準中型自動車 (3.5t以上5t未満)							5	1	6
第1種準中型自動車 (3.5t以上7.5t未満)									
第1種中型自動車 (5t以上8t未満)		1	1	3				2	7
第1種中型自動車 (5t以上11t未満)				1	4	6			11
第1種大型自動車 (11t以上)			3	9	3	4			19
第2級陸上特殊無線技士		1	4	2					7
第3級陸上特殊無線技士				11	6	8			25
乙種危険物取扱者			1	12	5	9	6		33
乙種消防設備士				1	1				2
ガス溶接士		1	1	5	2	5			14
潜水士				5	4	9			18
救急隊員資格〔135H〕 救急Ⅰ課程		1	4	7	2				14
救急Ⅱ課程		1	3	6	2				12
救急科(含標準課程)				7	5	10	4		26
救急救命士		1		8	3	1	3		16
うち気管挿管認定者		1		8	3		2		14
うちビデオ喉頭鏡を用いた 気管挿管認定者				5	3		2		10
うち薬剤投与認定者		1		8	3		3		15
うち心肺機能停止前輸液・ ブドウ糖投与認定者				5	3		2		10
予防技術資格者			2	4	5	3			14
2級小型船舶操縦士 (湖川含む)		1	1	9	4	1			16
小型移動式クレーン			3	8	4	5			20
玉掛け			4	6	5	4			19
特定化学物質等作業主任者		1							1
第2種電気工事士					1				1
ボイラー取扱技能					1	1			2

消防用車両

平成31年4月1日現在

車種	区分	車名	取得年月日	排気量	ポンプ級別 又は型式	車番	備考
水槽付ポンプ車		日野 レンジャー	平成22年 2月 9日	6,400	A-2	鹿児島800 は1199	災害対応特殊水槽付 消防ポンプ車Ⅱ型
ポンプ車		三菱 キャンター	平成16年 1月29日	5,240	A-2	鹿児島800 さ6583	
救急車		トヨタ ハイメディック	平成22年12月10日	2,693	高規格	鹿児島800 す2878	
救急車		ニッサン パラメディック	平成27年 2月 3日	3,498	高規格	鹿児島800 す6016	
救急車		ニッサン パラメディック	平成31年 2月10日	2,488	高規格	鹿児島800 す9251	電源立地地域 対策交付金
救助工作車		日野 レンジャー	平成22年 6月18日	6,400		鹿児島800 は1241	救助工作車Ⅱ型
指揮車		ホンダ CR-V	平成18年11月30日	2,350		鹿児島800 さ9601	日本特殊陶業(株) 寄贈
連絡車		日産 ステージア	平成12年12月25日	1,990		鹿児島800 さ2506	日本特殊陶業(株) 寄贈
広報車		ホンダ フィットシャトル	平成26年 3月 7日	1,339		鹿児島800 す5347	
資機材搬送車		日野 デュトロ	平成22年 2月15日	4,000		鹿児島800 す2208	移動式クレーン装備
小型搬送車		スバル サンバー	平成24年 6月20日	660		鹿児島880 あ 390	

特殊機械器具

平成31年4月1日現在

	品名	数量		品名	数量
消防用資器材	照明装置	3	救助用資器材	油圧式救助器具一式(エンジンポンプ式)	1
	投光器	3		油圧式救助器具一式(電動式)	1
	チェーンソー	5		可搬式ウインチ	1
	送排風機	2		エンジンカッター	2
	高圧噴霧装置	1		エアツール一式	1
	化学消火用簡易発泡器	4		救助幕	1
	複合ガス検知器	1		救助担架	1
	化学防護衣(陽圧式)	2		フルスケッドストレッチャー一式	1
	化学防護衣(簡易式)	2		救命索発射装置	1
					二連梯子
救急用資器材	患者監視装置	3		三連梯子	2
	うち12誘導心電計	3		ワイヤー梯子	1
	自動体外式除細動器	6		空気呼吸器	10
	輸液ポンプ	2		マット型空気ジャッキ一式	1
	吸引器	3		ガス溶断器	1
	自動式人工呼吸器	4		救命ボート	2
	パルスオキシメーター	5		船外機	2
	耐刃ベスト	6		削岩機	1
	バックボード	5		潜水器具一式	9
	AEDトレーナー	8		画像探索機	1
	訓練人形(リトルジュニア)	2	携帯警報機	4	
	訓練人形(レサシベビー)	1	移動式クレーン	2	
	ショートボード	3	電動ハンマードリル	1	
	高度救命処置シュミレーター	1	充電式レスプロソー	1	
	救急用カプノメータ	3			
	オゾン殺菌装置	1	その 他の 資器材	フレーム式展張テント(ドラッシュテント)	1
	殺菌線消毒ロッカー	1		発電機	6
	ビデオ喉頭鏡	3		冷暖房空調機(テント用全天候型)	1
自動心肺蘇生器	1		空気充填機	1	
			エアータント	1	

予 防

防火対象物現況と予防査察状況

中高層建築物現況

防火管理状況

消防法関係・火災予防条例等届出状況

消防同意事務処理状況

消防用設備等検査状況

防火対象物点検結果報告状況

広報活動実施状況

防火管理者資格取得講習会実施状況

危険物施設現況と査察状況

危険物施設数量・種類別状況

危険物規制事務処理状況

危険物規制事務手数料徴収状況

煙火消費許可事務及び手数料徴収状況

防火対象物現況と予防査察状況

多数の人が利用する建築物は、火災が発生した場合人命危険が大きいため、一定規模以上の建築物については、防火管理者の選任及び消火設備、警報設備、避難設備などの消防用設備等の設置と維持管理が消防法で義務づけられている。

平成31年4月1日現在

防火対象物区分		地域別				総数	査察状況
		宮之城	鶴田	薩摩			
1	イ	劇場等	2		1	3	1
	ロ	公会堂等	17	5	3	25	10
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等	4	1		5	5
	ハ	風俗営業等					
	ニ	カラオケボックス等					
3	イ	料理店等					
	ロ	飲食店	12	1	6	19	8
4		百貨店等	29	1	2	32	14
5	イ	旅館等	8	4	1	13	12
	ロ	共同住宅等	109	5	2	116	
6	イ	病院等	24		2	26	22
	ロ	老人短期入所施設等	10	7	4	21	21
	ハ	老人デイサービスセンター等	19	3	3	25	19
	ニ	幼稚園等	1	1	1	3	
7		学校等	35	7	9	51	29
8		図書館等	2		1	3	2
9	イ	蒸気・熱気浴場等					
	ロ	一般浴場	4	1	2	7	3
10		車両の停車場等					
11		神社・寺院等	8		3	11	
12	イ	工場等	136	33	24	193	163
	ロ	映画スタジオ等					
13	イ	自動車車庫等	16	2	1	19	2
	ロ	飛行機等格納庫					
14		倉庫	61	12	24	97	5
15		その他の事業場	212	83	61	356	8
16	イ	特定複合用途防火対象物	51	9	9	69	16
	ロ	非特定複合用途防火対象物	38	6	4	48	1
合 計			798	181	163	1,142	341

※ 延べ面積が150㎡以上で棟別とする

中高層建築物現況

平成31年4月1日現在

防火対象物の区分		区分	3階建	4階建	5階建	合計
1	イ	劇場等				
	ロ	公会堂等	1			1
2	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	風俗営業等				
	ニ	カラオケボックス等				
3	イ	料理店等				
	ロ	飲食店	1			1
4		百貨店等	1			1
5	イ	旅館等	1			1
	ロ	共同住宅等	14	6	1	21
6	イ	病院等	7	2	1	10
	ロ	老人短期入所施設等	1	2		3
	ハ	老人デイサービスセンター等				
	ニ	幼稚園等				
7		学校等	6			6
8		図書館等				
9	イ	蒸気・熱気浴場等				
	ロ	一般浴場				
10		車両の停車場等				
11		神社・寺院等				
12	イ	工場等	4			4
	ロ	映画スタジオ等				
13	イ	自動車車庫等				
	ロ	飛行機等格納庫				
14		倉庫	1			1
15		その他の事業場	7			7
16	イ	特定複合用途防火対象物	3		1	4
	ロ	非特定複合用途防火対象物	6			6
合計			53	10	3	66

防火管理状況

多数の者が出入りし、勤務し、又は居住する建築物で一定の人員（30人以上又は50人以上）を収容する建築物には、防火管理者を定めて消防計画の作成、消火、通報、避難訓練の実施、消防用設備等の点検整備など、防火管理上必要な業務の実施が義務づけられている。

平成31年4月1日現在

防火対象物区分		甲種防火対象物			乙種防火対象物			
		防火第 対8 象 条 物	選 防 解 火 任 管 届 済 者	作 消 成 防 届 計 済 画	防火第 対8 象 条 物	選 防 解 火 任 管 届 済 者	作 消 成 防 届 計 済 画	
1	イ	劇場等	1	1	1			
	ロ	公会堂等	14	14	13	7	2	2
2	イ	キャバレー等						
	ロ	遊技場等	5	5	5			
	ハ	風俗営業等						
	ニ	カラオケボックス等						
3	イ	料理店等						
	ロ	飲食店	11	11	9	3	3	3
4		百貨店等	19	19	18	7	4	4
5	イ	旅館等	12	12	11			
	ロ	共同住宅等	3	2	2			
6	イ	病院等	19	19	19			
	ロ	老人短期入所施設等	20	20	20			
	ハ	老人デイサービスセンター等	18	18	18	1	1	1
	ニ	幼稚園等	1	1	1			
7		学校等	16	16	16			
8		図書館等	2	2	2	1	1	1
9	イ	蒸気・熱気浴場等						
	ロ	一般浴場				3	3	3
10		車両の停車場等						
11		神社・寺院等	3	1	0	4	2	1
12	イ	工場等	10	10	10			
	ロ	映画スタジオ等						
13	イ	自動車車庫等						
	ロ	飛行機等格納庫						
14		倉庫						
15		その他の事業場	21	18	16	2	2	2
16	イ	特定複合用途防火対象物	16	16	16	3	3	3
	ロ	非特定複合用途防火対象物	5	4	4			
合 計			196	189	181	31	21	20

消防法関係・火災予防条例等届出状況

消防用設備等点検結果報告、火気使用設備、少量危険物等の貯蔵及び取扱い等について、火災未然防止のため、消防法・火災予防条例等により届出が義務づけられている。

平成30年度

月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
		各種届出													
消防用設備等点検結果報告		23	16	25	24	9	9	11	15	21	8	23	47	231	
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱い開始届出		1	1				1		1			1		5	
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱い廃止届出			1						1					2	
指定可燃物貯蔵届出						1							1	2	
指定可燃物廃止届出								1						1	
火 災 予 防 条 例	防火対象物使用開始届出			1	2	4	2	1	2		1	2	3	18	
	火を使用する設備等の届出 (ボイラー・炉)						5				1	1	3	10	
	変電設備設置届出					1		1		1	2		3	8	
	蓄電池設備設置届出	1		3		3			3	6	1			17	
	発電設備設置届出				1			1	1					3	
	少量危険物貯蔵・取扱い届出	1	1		1			2		1		3	2	11	
	少量危険物貯蔵・取扱い廃止届出										1	1	4	1	0
	火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生おそれのある行為の届出	20	7	10	13	6	4	20	19	34	84	26	17	260	
	煙火（打ち上げ・仕掛け）届出		2		2	4	11	2		2		2		25	
	催物開催届出	2			1		1	1	1					6	
露店等の開設届出	3	1	2	5	2	1	5	7	3		3	1	33		
道路工事届出	6	21	36	15	22	28	30	20	19	15	16	3	231		
合 計		57	50	77	64	52	64	73	71	87	116	80	79	863	

消防同意事務処理状況

消防法第7条と建築基準法第93条に基づいて、建築物の設計の段階で防火の専門家である消防機関が、防災の面から建築物をチェックする制度である。

平成30年度

防火対象物の区分		区分	新 築	増 築	その他	合 計
1	イ	劇場等				
	ロ	公会堂等	1			1
2	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	風俗営業等				
	ニ	カラオケボックス等				
3	イ	料理店等				
	ロ	飲食店				
4		百貨店等	2			2
5	イ	旅館等			1	1
	ロ	共同住宅等	1			1
6	イ	病院等				
	ロ	老人短期入所施設等				
	ハ	老人デイサービスセンター等				
	ニ	幼稚園等				
7		学校等		1		1
8		図書館等				
9	イ	蒸気・熱気浴場等				
	ロ	一般浴場				
10		車両の停車場等				
11		神社・寺院等				
12	イ	工場等	4			4
	ロ	映画スタジオ等				
13	イ	自動車車庫等				
	ロ	飛行機等格納庫				
14		倉庫	4			4
15		その他の事業場	2	1		3
16	イ	特定複合用途防火対象物	3			3
	ロ	非特定複合用途防火対象物				
専用住宅			1			1
その他の建築物			6			6
合 計			24	2	1	27
建築確認通知			34	3	1	38

消防用設備等検査状況

防火対象物に設置が義務づけられている消防用設備等については、工事着工前にその計画が消防法令の技術上の基準に適合しているかどうかを審査し、工事が完成したときは計画どおり設置されているかについて検査を実施し、消防用設備等が技術上の基準に適合していると認めたとときに検査済証を交付する。

平成30年度

設 備 別		区 分	着工届	設置届	検査済
消 火 設 備	消火器			13	13
	屋内消火栓設備			1	1
	粉末消火設備				
	パッケージ型消火設備				
	スプリンクラー設備		3	3	2
警 報 設 備	自動火災報知設備		9	21	16
	消防機関へ通報する火災報知設備		5	8	6
	非常警報設備		1	3	3
避 難 設 備	避難器具		1	1	1
	誘導灯		2	8	6
	誘導標識			3	1

防火対象物点検結果報告状況

消防法施行令の別表第1に定める特定防火対象物のうち、収容人員が300人以上の対象物又は3階以上に特定用途部分があり、かつ避難階又は地上に直通する階段が1つしかない対象物が報告することとなっている。

平成30年度

項 別		区 分	対象物数	報告済数	特例認定数
1	イ	劇場等	1	1	
	ロ	公会堂等	6	6	
2	ロ	遊技場	2	2	
3	ロ	飲食店	1		
4		百貨店等	3	2	
5	イ	旅館等	2	2	
6	イ	病院等	3		3
16	イ	特定複合用途防火対象物	3	2	1
合 計			21	15	4

広報活動実施状況

住民の防火思想の普及啓発を図るため、春と秋の火災予防運動期間中及び火災気象通報発令時に車両広報を実施し、火災予防を呼びかけた。また幼稚園や学校等に出向し、避難訓練や防火講話、消火器取扱い訓練を行い、火気の正しい取扱い等について指導した。

平成30年度

種別	月別													合計	参加人員 配布数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
避難訓練	15	10	17	13	6	16	28	25	19	9	14	25	197	8,102人	
消防用設備等取扱訓練	15	11	14	14	5	13	28	24	18	9	14	23	188	2,985人	
防火講話	8	7	4	5	1	5	17	12	7	6	7	8	87	5,606人	
防火映画								1	2	2	4		9	634人	
庁舎見学		5	3	1	1			1	1				12	264人	
防火広報	3	5	3			1	7	8	5	7	3	5	47	112人	
広報紙・防火チラシ配布			1					1					2	16,100部	
防火読本配布	1												1	230部	

防火管理者資格取得講習会実施状況

◎新規講習

一定の人員以上を収容する建築物には、資格を有する防火管理者を定めることが義務づけられており、その資格は消防機関の行う防火管理者資格取得講習会を受講することによって付与される。

実施年	種別	実施場所	修了者数
昭和56年		消防署	18名
昭和57年		消防署	41名
昭和58年		消防署	33名
昭和60年		消防署	41名
昭和63年	甲種	消防署	29名
平成2年	甲種	消防署	32名
平成4年	甲種	消防署	36名
平成6年	甲種	消防署	32名
平成8年	甲種	消防署	25名
平成10年	甲種	消防署	29名
平成11年	甲種	消防署	29名
平成13年	甲種	消防署	30名
平成14年	甲種	消防署	20名
平成15年	甲種	消防署	32名
平成16年	甲種	消防署	31名
平成17年	甲種	消防署	25名
平成18年	甲種	消防署	32名
平成19年	甲種	消防署	32名
平成20年	甲種	消防署	24名
平成21年	甲種	消防署	28名
平成22年	甲種	消防署	16名
平成23年	甲種	消防署	18名
平成24年	甲種	消防署	18名
平成25年	甲種	消防署	15名
平成26年	甲種	消防署	27名
平成27年	甲種	消防署	15名
平成28年	甲種	消防署	28名
平成29年	甲種	消防署	16名
平成30年	甲種	消防署	23名
合計	実施回数	29回	775名

◎再講習

不特定多数の人が出入りし、かつ、収容人員が300人以上の事業所において選任されている防火管理者は、5年ごとに再講習を受けることが義務づけられている。

実施年	種別	実施場所	修了者数
平成18年	再講習	消防署	10名
平成23年	再講習	消防署	12名
平成27年	再講習	消防署	8名
平成28年	再講習	消防署	4名
平成29年	再講習	消防署	4名
平成30年	再講習	消防署	5名
合計	実施回数	6回	43名

危険物施設現況と査察状況

消防法に定める危険物は引火性、発火性があり、火災発生の危険性が大きく、消火の困難性が高い物品である。危険物による災害を防止するため、一定量以上の危険物を貯蔵し又は取り扱う場所は、危険物施設として許可を受けなければならないこととして規制されている。現在管内には 127 の危険物施設があり、給油取扱所をはじめ各施設の立入検査を実施している。

平成31年4月1日現在

施設区分		地域別			合計	査察回数
		宮之城	鶴田	薩摩		
貯蔵所	屋内貯蔵所	7	2		9	8
	屋外タンク貯蔵所	17	2	6	25	21
	屋内タンク貯蔵所	1			1	1
	地下タンク貯蔵所	14	4	5	23	21
	移動タンク貯蔵所	12	2		14	14
	屋外貯蔵所					
	小計	51	10	11	72	65
取扱所	給油取扱所	19 (7)	3 (2)	9 (4)	31 (13)	23 (9)
	一般取扱所	13	6	5	24	22
	小計	32 (7)	9 (2)	14 (4)	55 (13)	45 (9)
合計		83 (7)	19 (2)	25 (4)	127 (13)	110 (9)

※ () 内は自家用給油取扱所の数を示す

危険物施設数量・種類別状況

平成31年4月1日現在

施設区分 種類・数量別		貯 蔵 所						取 扱 所			合 計	
		屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所		小計
数 量 別	5倍以下	6		1	9	11	10	37		12	12	49
	5倍を超え10倍以下	3			14	6	2	25	4	9	13	38
	10倍 " 50倍 "				2	6	2	10	10	3	13	23
	50倍 " 100倍 "								11		11	11
	100倍 " 150倍 "								2		2	2
	150倍 " 200倍 "								2		2	2
	200倍 " 1000倍 "								2		2	2
	1000倍を超えるもの											
合 計		9		1	25	23	14	72	31	24	55	127
第 4 類	第1石油類	4					4	8	24	1	25	33
	第2石油類	5		1	6	11	14	37	30	11	41	78
	第3石油類	7			19	12	11	49	13	13	26	75
	第4石油類	6						6	18	5	23	29
	動植物油類	1						1				1
	アルコール類	3				1		4				4

危険物規制事務処理状況

平成30年度

施設区分 申請・届出別			貯 蔵 所					取 扱 所			合 計	
			屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	小 計	給油取扱所		一般取扱所
申 請	許 可	設 置							2		2	2
		変 更										
	完成検査	設 置							2		2	2
		変 更										
	仮使用承認申請											
	仮貯蔵・仮取扱承認申請											
	完成検査前検査申請											
	許可証等再交付申請									1	1	1
届 出	保安監督者選解任届		2	1		3			6		7	13
	譲渡・引渡届											
	廃止届								1		1	1
	工事届								7	4	11	11
	記載事項変更届		1		1	4			6	3	3	9
	品名・数量変更届		2						2	1	2	4
	地下タンクの構造及び設置年月日照合願い											
	地下タンク等の在庫管理及び漏洩時の措置に関する計画届					1			1			1
休止・再開届												

危険物規制事務手数料徴収状況

平成30年度（単位：円）

許 可		完成検査	水張検査	加圧検査	仮使用	合計
設置許可	変更許可					
104,000	0	52,000	6,000	0	0	162,000

煙火消費許可事務及び手数料徴収状況

平成30年度

許可件数	5件	手数料徴収額	39,500円
------	----	--------	---------

火災

火災概要

火災概況

地域別発生状況

月別発生状況

曜日別発生状況

時間帯別発生状況

出動状況

現場到着所要時間

原因別火災発生状況

死傷者の発生状況

火災の発見媒体と発見後の行動

初期消火実施状況

初期消火実施者の分類

過去10年間の火災発生件数と損害額

火災以外の出動状況

〈平成 30 年火災一目統計〉

* 出火件数 (件)

全 国	37,981
鹿児島県	605
さつま町	9

* 焼損棟数 (棟)

全 国	29,962
鹿児島県	508
さつま町	3

* 建物焼損床面積 (㎡)

全 国	1,063,583
鹿児島県	28,172
さつま町	251

* 建物焼損表面積 (㎡)

全 国	117,981
鹿児島県	2,221
さつま町	6

* 林野焼損面積 (a)

全 国	60,624
鹿児島県	503
さつま町	15

* 死傷者数 (人)

全 国	死者	1,427	負傷者	6,114
鹿児島県	死者	23	負傷者	68
さつま町	死者	0	負傷者	2

* リ災世帯数 (世帯)

全 国	18,180
鹿児島県	254
さつま町	1

* 損害額 (千円)

全 国	84,627,241
鹿児島県	1,239,885
さつま町	4,279

火災概要

(1) 火災件数

平成 30 年中の火災発生件数は 9 件（宮之城地域 4 件・鶴田地域 2 件・薩摩地域 3 件）で、前年と比較して 5 件減少している。

火災種別ごとにみると、建物火災 2 件・林野火災 1 件・その他の火災 6 件となっている。

(2) 火災による損害

焼損棟数は 3 棟で（全焼 1 棟・半焼 1 棟・部分焼 1 棟）で、前年から棟数の増減は無く、内訳のみ異なります。

焼損面積は、建物床面積 251 m²・建物表面積 6 m²・林野 15 a が焼失しており、前年と比べ建物床面積が 464 m²減少し、建物表面積が 6 m²及び林野面積が 1 a 増加している。

損害額は 4,279 千円（建物 4,165 千円・車両 85 千円・その他 29 千円）で前年と比べ 33,990 千円減少している。

(3) 出火原因

火災発生件数 9 件を出火原因別にみると、平成 30 年中は『たき火・火入れ』による火災が 6 件(67%)と最も多く、次いで『不明』が 2 件(22%)、『排気管』による火災が 1 件(11%)となっている。

(4) 死者・負傷者

火災による死者は無く、負傷者は 2 人で前年と比べ、共に増減なしとなっている。

火災概況

※ △は減

区分		年別		
		平成30年	平成29年	比較（増減）
出火件数 (件)	建物	2	3	△ 1
	林野	1	3	△ 2
	車両		2	△ 2
	その他	6	6	0
	合計	9	14	△ 5
焼損棟数 (棟)	全焼	1	2	△ 1
	半焼	1		1
	部分焼	1		1
	ぼや		1	△ 1
	合計	3	3	0
建物焼損床面積（㎡）		251	715	△ 464
建物焼損表面積（㎡）		6		6
林野焼損面積（a）		15	14	1
り災世帯（世帯）		1	1	0
り災人員（人）		1	1	0
死者（人）				
負傷者（人）		2	2	0
損害額 (千円)	建物	4,165	37,852	△ 33,687
	林野			
	車両	85	54	31
	その他	29	363	△ 334
	合計	4,279	38,269	△ 33,990

地域別発生状況

平成30年中

区分		地域別			
		宮之城	鶴田	薩摩	合 計
出火件数 (件)	建物			2	2
	林野		1		1
	車両				
	その他	4	1	1	6
	合 計	4	2	3	9
焼損棟数 (棟)	全焼			1	1
	半焼			1	1
	部分焼			1	1
	ぼや				
	合 計	0	0	3	3
建物焼損床面積 (㎡)				251	251
建物焼損表面積 (㎡)				6	6
林野焼損面積 (a)			15		15
り災世帯 (世帯)				1	1
り災人員 (人)				1	1
死者 (人)					
負傷者 (人)		1	1		2
損害額 (千円)	建物			4,165	4,165
	林野				
	車両			85	85
	その他	29			29
	合 計	29	0	4,250	4,279

月別発生状況

平成30年中

区分		月別												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
火災種別	建物								1				1	2
	林野			1										1
	車両													
	その他		1	1	1	1			1				1	6
合計			1	2	1	1			1	1			2	9

曜日別発生状況

平成30年中

区分		曜日別							合計
		日	月	火	水	木	金	土	
火災種別	建物			1		1			2
	林野				1				1
	車両								
	その他		2		1		2	1	6
合計			2	1	2	1	2	1	9

時間帯別発生状況

平成30年中

区分		時間帯別												合計
		0時 ～ 2時 未満	2時 ～ 4時 未満	4時 ～ 6時 未満	6時 ～ 8時 未満	8時 ～ 10時 未満	10時 ～ 12時 未満	12時 ～ 14時 未満	14時 ～ 16時 未満	16時 ～ 18時 未満	18時 ～ 20時 未満	20時 ～ 22時 未満	22時 ～ 24時 未満	
火災種別	建物										1			1
	林野								1					1
	車両													
	その他						2	1	3					6
合計							2	1	4		1			8

※ 建物火災1件については、出火時間不明のため未計上。

出動状況

平成30年中

種別	区分	火災 件数	出動 件数	延出動人員（人）			延出動車両（台）		
				総員	吏員	団員	総数	署	団
建物		2	2	158	29	129	18	10	8
林野		1	1	60	10	50	9	4	5
車両									
その他		6	6	229	51	178	42	21	21
合 計		9	9	447	90	357	69	35	34

※ 署出動分：救急車等の車両及び人員を含む

現場到着所要時間

平成30年中

区分	所要時間	5分	5分	10分	15分	20分	平均
		未満	～ 10分未満	～ 15分未満	～ 20分未満	以上	
火 災 種 別	建物			2			12.5
	林野			1			12.0
	車両						0.0
	その他	1	2	3			8.2
合 計		1	2	6			9.6
地 域 別	宮之城	1	2	1			6.8
	鶴田			2			12.0
	薩摩			3			11.7

※ 現場到着所要時間：事後聞知火災2件を除く火災の出動から現場到着までとする

※ 現場到着平均時間：小数点第2位を四捨五入したもの

原因別火災発生状況

原因別	年別	平成30年		平成29年	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
たき火・火入れ		6	66.7	10	71.4
配線器具		0	0.0	0	0.0
電気機器・装置		0	0.0	0	0.0
電灯・電話等の配線		0	0.0	0	0.0
たばこ		0	0.0	0	0.0
こたつ		0	0.0	0	0.0
灯火		0	0.0	0	0.0
排気管		1	11.1	0	0.0
放火		0	0.0	0	0.0
放火の疑い		0	0.0	0	0.0
不明・調査中		2	22.2	2	14.3
その他		0	0.0	2	14.3
合計		9	100	14	100

死傷者の発生状況

死者の発生した火災

平成30年中

番号	発生日	火災種別	出火元の用途	住警器 設置状況	年齢・性別
		なし			

負傷者の発生した火災

平成30年中

番号	発生日	火災種別	出火元の用途	住警器 設置状況	年齢・性別
1	2月23日	その他			90歳・男
3	3月14日	林野			74歳・女

火災の発見媒体と発見後の行動

平成30年中

媒体と行動 発見者	発見媒体						発見後最初に行った行動				合計
	炎	煙	音	声	住宅用 火災警報器	その他	消火	通報	他の者へ連絡	その他	
火気取扱者											
火元関係者	6						6				6
火元家族		1							1		1
通行人											
その他		1	1					2			2
合計	6	2	1				6	2	1		9

初期消火実施状況

平成30年中

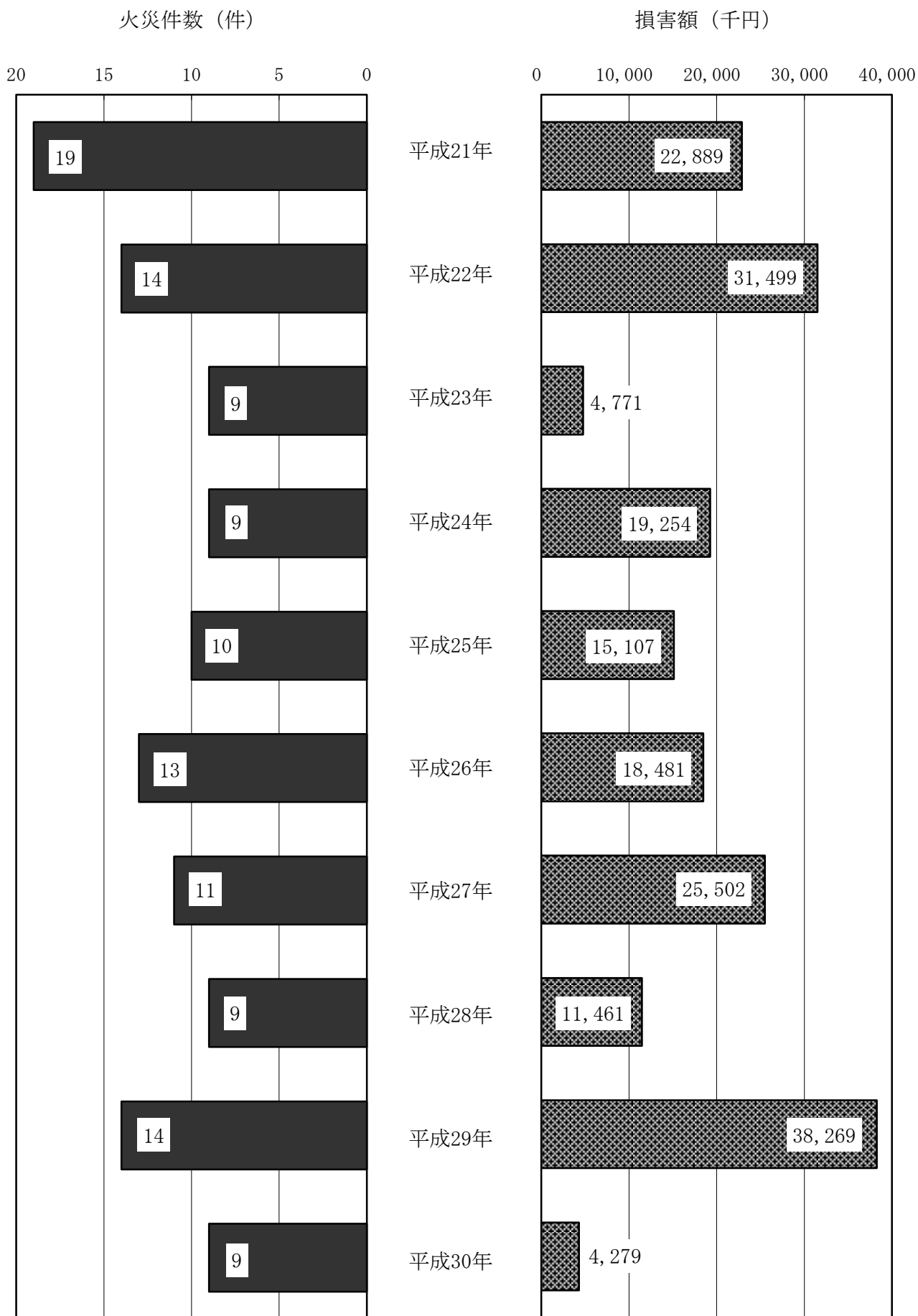
区分 器具等	実施 8件 (88.9%)		未実施 1件 (11.1%)
	成功 (11.1%)	失敗 (77.8%)	
各種消火器	0件	0件	
水道水等	0件	2件	
その他	1件	5件	
小計	1件	7件	1件
合計	9件		

初期消火実施者の分類

平成30年中

区分 消火者	火気取扱者	火元関係者	付近の者	火元家族	通行人	その他	合計
件数 (件)	0	6	2	0	0	0	8
割合 (%)	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100

過去10年間の火災発生件数と損害額



火災以外の出動状況

平成30年中

種別	区分	出 動 件 数	出 動 人 員	出 動 車 両				
				タンク車	ポンプ車	工作車	救急車	その他
誤報		0	0	0	0	0	0	0
虚報		0	0	0	0	0	0	0
自火報鳴動		4	16	4	1	0	0	1
危険排除		9	36	7	2	1	0	2
怪煙偵察		0	0	0	0	0	0	0
自然災害		0	0	0	0	0	0	0
行方不明者捜索		5	63	0	10	0	2	14
救急隊支援		161	386	63	66	1	21	11
	うち ドクターヘリ警戒	86	186	53	9	0	11	7
その他		10	34	3	0	0	0	0
合計		189	535	77	79	2	23	28

救急・救助

救急概要

救急概況

地域別出動状況

月別出動件数

曜日別出動件数

時間帯別出動件数

覚知別出動件数

傷病程度別搬送状況

救急隊員の行った応急処置

年齢区分別搬送状況

現場到着所要時間別出動状況

医療機関収容所要時間別搬送人員

過去10年間の出動件数と搬送人員

救助概要

事故種別活動状況

傷病程度別救助人員

発生場所別救助人員

地域別出動状況

〈平成30年救急一目統計〉

※さつま町の人口	21,382人	(平成30年 1月 1日 現在)
※出動件数	1,070件	(平成29年 1,079件)
※搬送件数	980件	(平成29年 980件)
※搬送人員	989人	(平成29年 984人)
※1日の平均出動件数	2.9件	(平成29年 3.0件)
※1日の平均搬送人員	2.7人	(平成29年 2.7人)
※1日の最多出動件数	11件	(平成29年 9件)
※1日の最少出動件数	0件	(平成29年 0件)
※ドクターヘリの対応件数	48件	(平成29年 70件)
※さつま町民の約22人に1人が救急車で搬送されていることになる		
※多い月は8月	116件	(少ない月は9月 69件)
※多い曜日は月曜日	191件	(少ない曜日は木曜日 121件)
※多い時間帯は10時～12時	167件	
※少ない時間帯は2時～4時	20件	
救急出動要請は119番通報が全体の69.2% (1,070件中 740件)		

〈平成30年救助一目統計〉

※出動件数	15件	(平成29年 15件)
※活動件数	9件	(平成29年 9件)
※救助人員	10人	(平成29年 9件)
※事故種別は交通事故が全体の	73.3%	

救急概要

(1) 出動件数及び搬送人員

平成 30 年の救急業務は、1,070 件に出動し、989 人を搬送した。

これは前年と比較して出動件数が 9 件（0.8%）減少、搬送人員が 5 人（0.5%）増加している。

(2) 事故種別

急病が最も多く 582 件で全体の 54.4%を占めており、次いで転院搬送の 199 件（18.6%）、一般負傷が 168 件（15.7%）、交通事故が 74 件（6.9%）となっている。

(3) 傷病程度

搬送人員 989 人を傷病程度別にみると、死亡 23 人（2.3%）、重症 206 人（20.8%）、中等症 482 人（48.7%）、軽症 278 人（28.1%）となっている。

(4) 高齢者の搬送人員

搬送人員 989 人中 65 歳以上の高齢者が 697 人と全体の 70.5%を占め、このうち 374 人（53.6%）は急病により搬送されている。

救急概況

※ △は減

区分 事故種別	平成30年					平成29年					比較(増減)					
	出動 件数	搬送 件数	搬送人員			出動 件数	搬送 件数	搬送人員			出動 件数	搬送 件数	搬送人員			
			計	男	女			計	男	女			計	男	女	
合計	1,070	980	989	488	501	1,079	980	984	501	483	△ 9		5	△ 13	18	
火災	2	2	2	1	1	2	1	1	1			1	1		1	
自然災害																
水難																
交通事故	74	58	65	40	25	75	68	72	42	30	△ 1	△ 10	△ 7	△ 2	△ 5	
労災	9	9	9	7	2	13	13	13	10	3	△ 4	△ 4	△ 4	△ 3	△ 1	
運動競技	19	15	16	13	3	10	9	9	8	1	9	6	7	5	2	
一般負傷	168	159	160	55	105	151	140	140	75	65	17	19	20	△ 20	40	
加害	1	1	1	1							1	1	1	1		
自損行為	11	8	8	4	4	11	4	4	1	3		4	4	3	1	
急病	582	529	529	273	256	597	532	532	262	270	△ 15	△ 3	△ 3	11	△ 14	
その他	転院	199	199	199	94	105	213	213	213	102	111	△ 14	△ 14	△ 14	△ 8	△ 6
	医師搬送	5					6					△ 1				
	資機材等輸送															
	その他						1					△ 1				

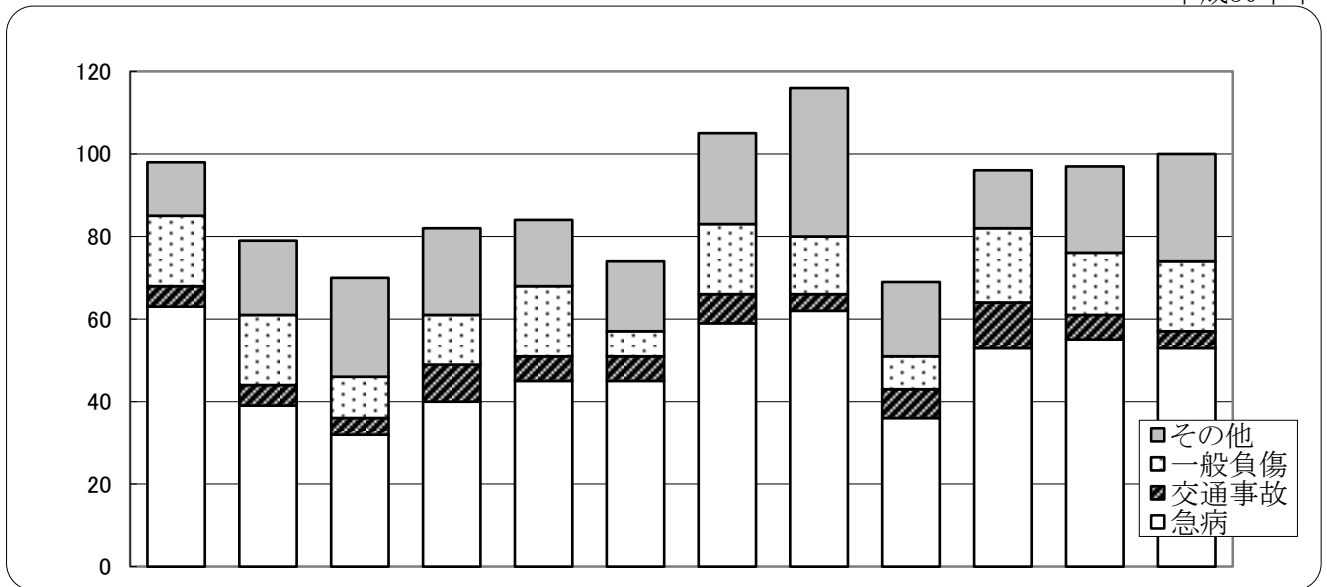
地域別出動状況

平成30年中

事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労災	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
地域別													
宮 之 城	出動件数	1			53	4	16	109	1	6	359	193	742
	搬送件数	1			40	4	13	103	1	5	327	192	686
	搬送人員	1			46	4	14	104	1	5	327	192	694
鶴 田	出動件数	1			7	3	1	38		2	121	4	177
	搬送件数	1			5	3	1	37			107	4	158
	搬送人員	1			6	3	1	37			107	4	159
薩 摩	出動件数				14	2	2	21		3	102	7	151
	搬送件数				13	2	1	19		3	95	3	136
	搬送人員				13	2	1	19		3	95	3	136
管 外	出動件数												
	搬送件数												
	搬送人員												
合 計	出動件数	2			74	9	19	168	1	11	582	204	1,070
	搬送件数	2			58	9	15	159	1	8	529	199	980
	搬送人員	2			65	9	16	160	1	8	529	199	989

月別出動件数

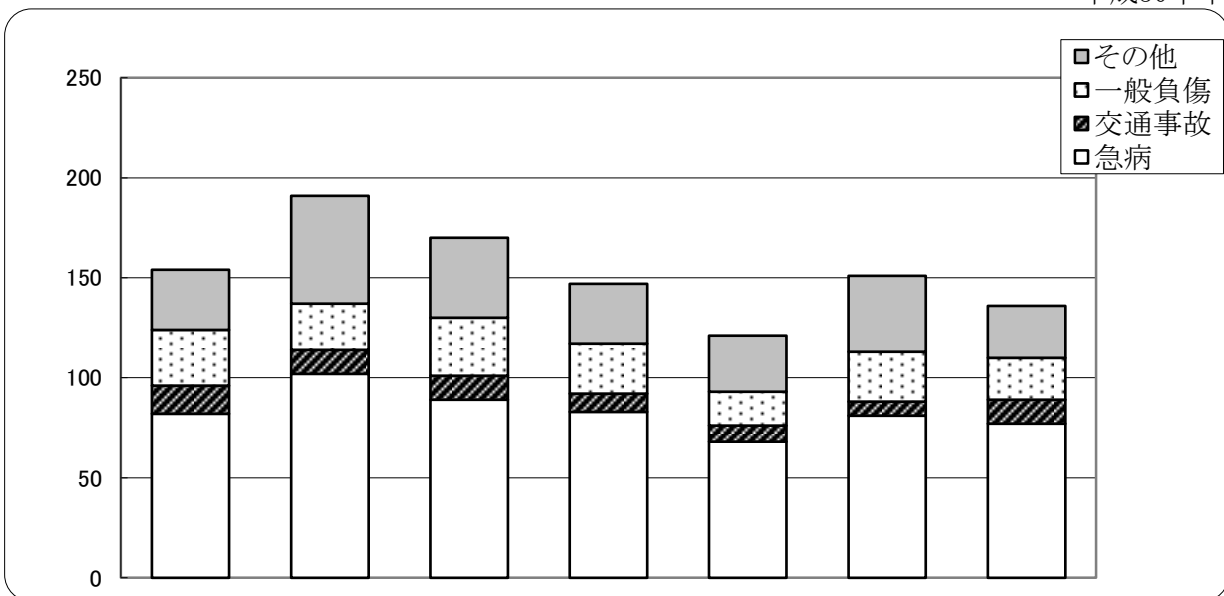
平成30年中



月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出動件数	98	79	70	82	84	74	105	116	69	96	97	100	1,070
構成比	9.2%	7.4%	6.5%	7.7%	7.9%	6.9%	9.8%	10.8%	6.4%	9.0%	9.1%	9.3%	100%

曜日別出動件数

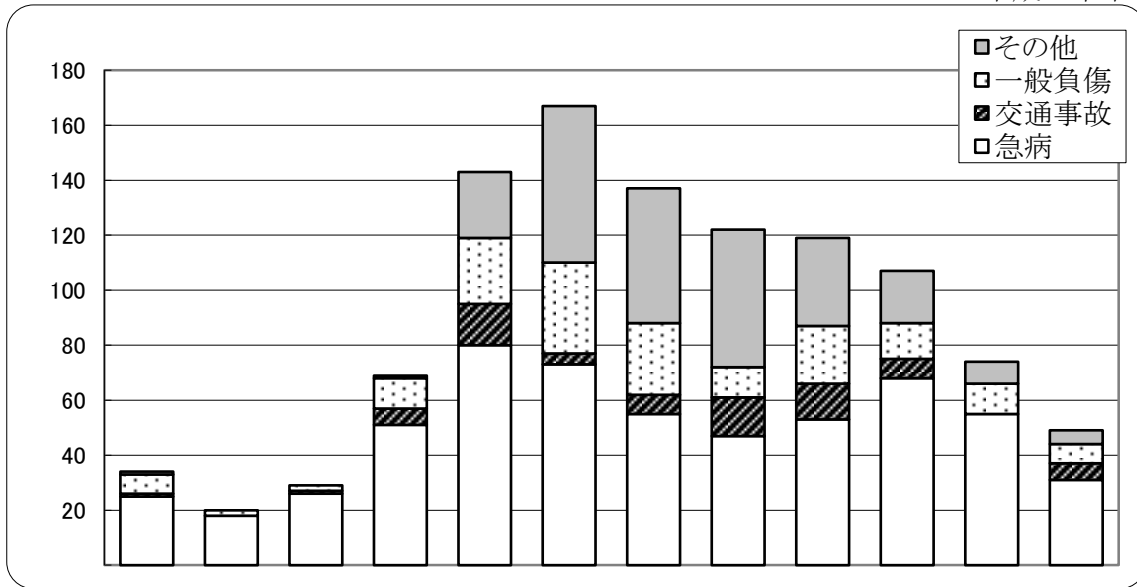
平成30年中



曜日別	日	月	火	水	木	金	土	合計
出動件数	154	191	170	147	121	151	136	1,070
構成比	14.4%	17.9%	15.9%	13.7%	11.3%	14.1%	12.7%	100%

時間帯別出動件数

平成30年中



時間帯	0 5	2 5	4 5	6 5	8 5	10 5	12 5	14 5	16 5	18 5	20 5	22 5	合計
出動件数	34	20	29	69	143	167	137	122	119	107	74	49	1,070
構成比	3.2%	1.9%	2.7%	6.4%	13.4%	15.6%	12.8%	11.4%	11.1%	10.0%	6.9%	4.6%	100%
火災								1	1				2
自然災害													
水難													
交通事故	1		1	6	15	4	7	14	13	7		6	74
労災							4	2	1	1	1		9
運動競技					1	4	4	5	4		1		19
一般負傷	7	2	2	11	24	33	26	11	21	13	11	7	168
加害						1							1
自損行為				1	1	1	1		2	3	1	1	11
急病	25	18	26	51	80	73	55	47	53	68	55	31	582
その他	1				22	51	40	42	24	15	5	4	204

覚知別出動件数

平成30年中

事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労災	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	構成比
覚知別													
合計	2			74	9	19	168	1	11	582	204	1,070	100%
119番				64	7	17	138	1	8	485	19	739	69.1%
加入電話	1			10	2	1	24			80	180	298	27.9%
駆け付け							4		2	14		20	1.9%
その他	1					1	2		1	3	5	13	1.2%

傷病程度別搬送状況

平成30年中

傷病程度 事故種別	死亡		重症		中等症		軽症		その他		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
合計	13	10	92	114	241	241	142	136			488	501
構成比	2.3%		20.8%		48.7%		28.1%				100%	
急病	12	8	45	40	139	127	77	81			273	256
交通事故			2		13	6	25	19			40	25
一般負傷		1	10	27	21	48	24	29			55	105
その他	1	1	35	47	68	60	16	7			120	115

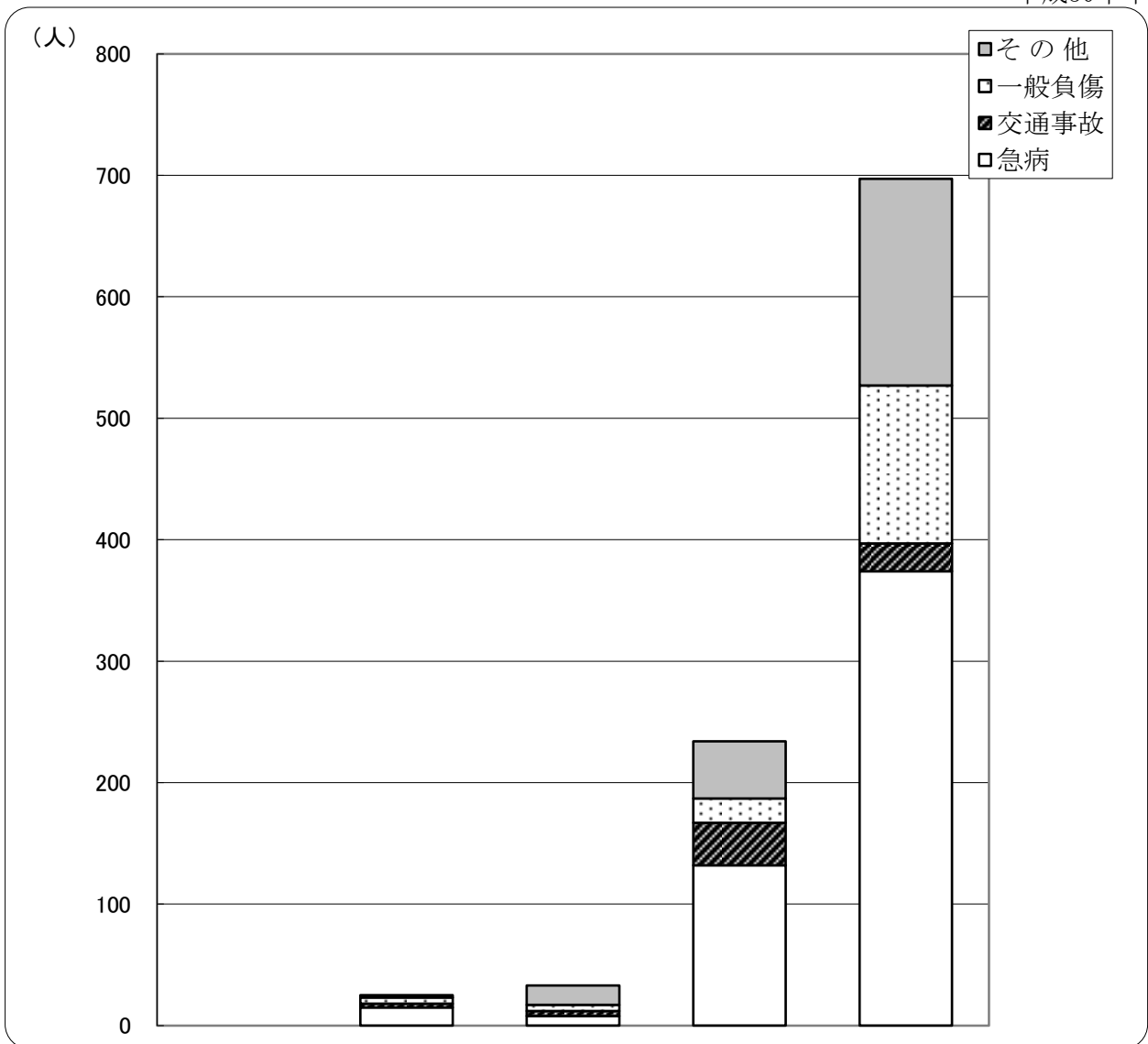
救急隊員の行った応急処置

平成30年中

処置別 事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
搬送人員	529	65	160	235	989
処置人員	522	64	160	39	785
止血		1	4		5
固定	1	19	8	6	34
人工呼吸	7				7
心マッサージ	1				1
うち自動式心マッサージ器					
心肺蘇生	22		3	2	27
うち自動式心マッサージ器					
酸素吸入	149	7	13	11	180
気道確保	35		3	3	41
うち経鼻エアウェイ	1			1	2
うち喉頭鏡・鉗子等					
うちリングゲアルマスク等					
うち気管挿管	7		2	1	10
保温	19	1	3	4	27
被覆	2	8	27	5	42
在宅療法の維持					
うちA(点滴処置等)			1		1
うちB(外傷処置等)			1		1
うちC(上記A・B以外)					
ショックパンツ					
除細動					
静脈路確保	9		2		11
うちCPA前	5				
うちCPA後	4		2		
薬剤投与	4				4
その他の処置	458	61	147	28	694
血圧測定	492	61	153	36	742
聴診器聴取	299	44	61	13	417
血中酸素飽和度測定	490	62	148	33	733
心電図	427	42	104	21	594
血糖測定	6	1			7
ブドウ糖投与	1				1
処置件数	2,422	307	676	162	3,567

年齢区分別搬送状況

平成30年中



事故種別	年齢区分					合計
	新生児 生後 28日 未 満	乳幼児 生後 28日 ～ 6歳	少年 7歳 ～ 17歳	成人 18歳 ～ 64歳	高齢者 65歳 以上	
合計	0	25	33	234	697	989
構成比	0.0%	2.5%	3.3%	23.7%	70.5%	100%
急病	0	15	8	132	374	529
交通事故	0	3	4	35	23	65
一般負傷	0	5	5	20	130	160
その他	0	2	16	47	170	235

現場到着所要時間別出動状況

平成30年中

所要時間 \ 事故種別	事故種別				合 計
	急病	交通事故	一般負傷	その他	
3分未満	13		3	4	20
3分以上5分未満	38	5	5	28	76
5分以上10分未満	237	24	82	162	505
10分以上20分未満	275	42	73	48	438
20分以上	19	3	5	4	31
合 計	582	74	168	246	1,070
最短(分)	0	3	0	0	
最長(分)	31	26	26	55	
平均現場到着時間 9.2分					

※ 現場到着所要時間: 覚知から現場到着までとする

医療機関収容所要時間別搬送人員

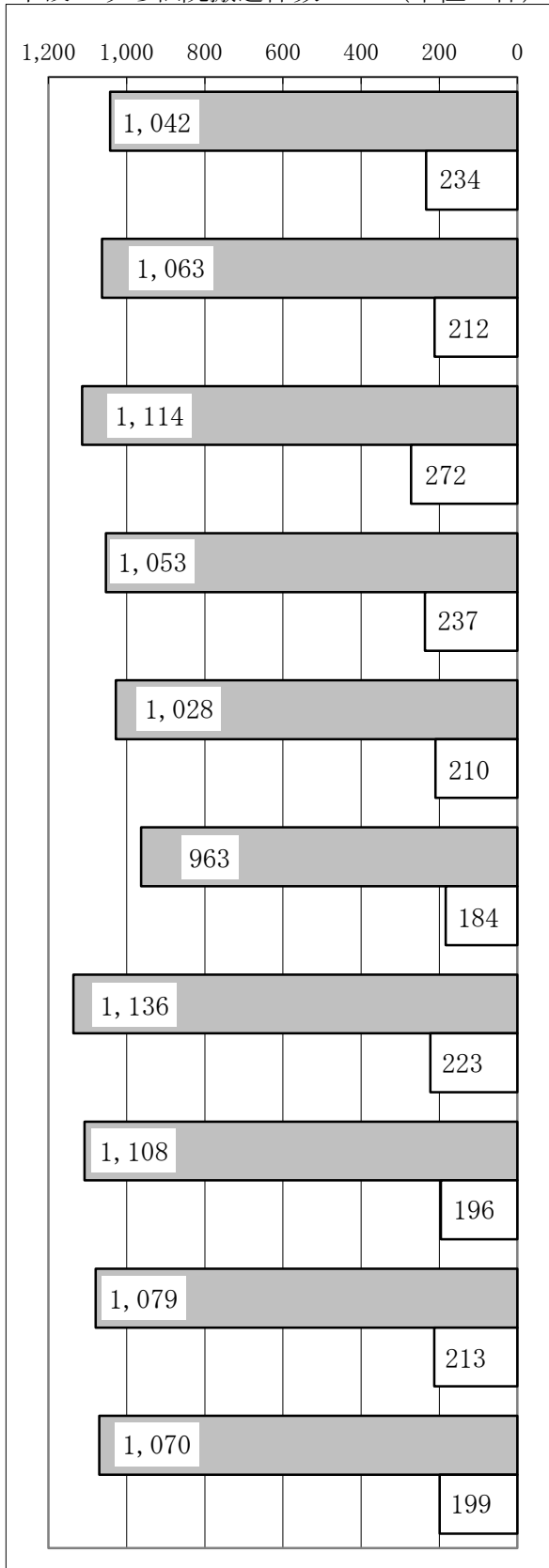
平成30年中

所要時間 \ 事故種別	急病		交通事故		一般負傷		その他		合 計	
	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外
10分未満										
10分以上20分未満	10	1	1		3		11		25	1
20分以上30分未満	85		8		32		18	1	143	1
30分以上60分未満	302	100	39	9	93	14	156	140	590	263
60分以上120分未満	126	108	17	11	31	23	48	47	222	189
120分以上	6	5			1	1	2	2	9	8
合 計	529	214	65	20	160	38	235	190	989	462
最短(分)	10		19		18		14			
最長(分)	168		116		137		156			
平均病院到着時間 48.5分										

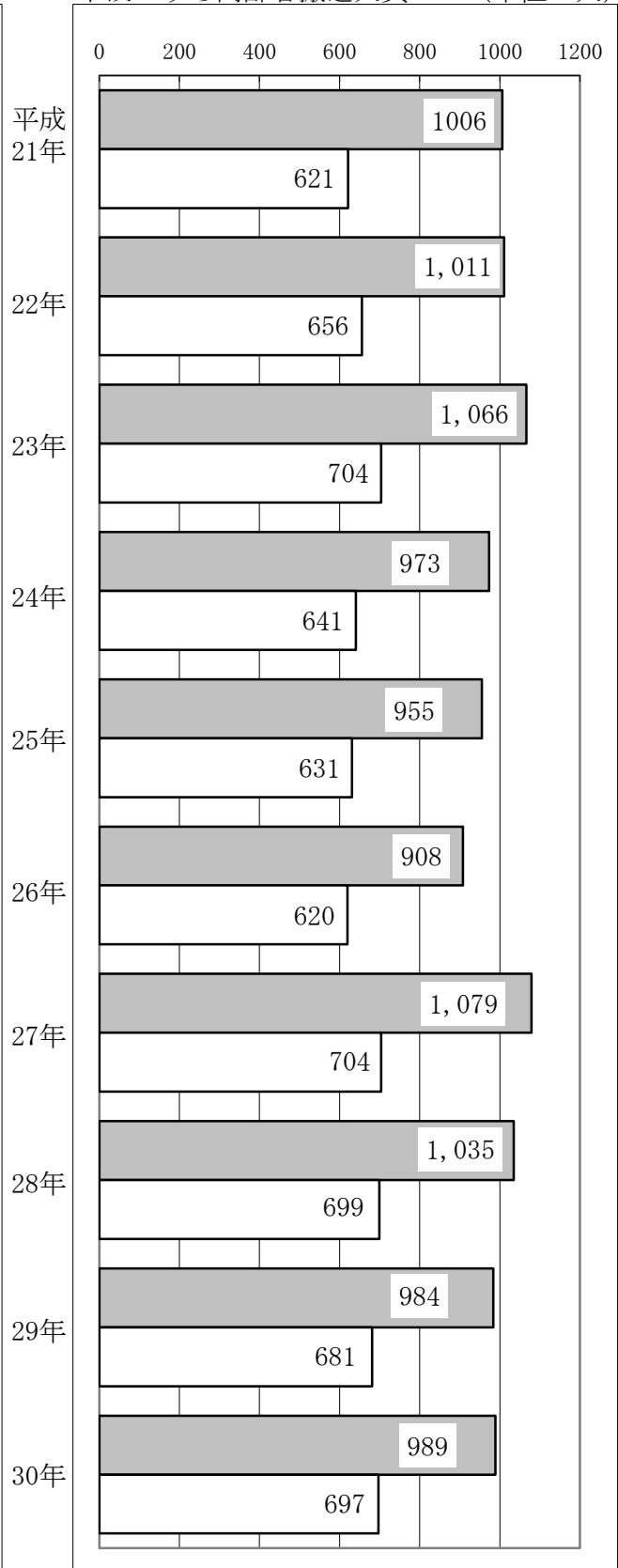
※ 病院収容所要時間: 覚知から病院収容(引継)までとする

過去10年間の出動件数と搬送人員

上段：出動件数
下段：うち転院搬送件数 (単位：件)



上段：搬送人員
下段：うち高齢者搬送人員 (単位：人)



救助概要

(1) 出動件数、活動件数及び救助人員

平成 30 年中における救助活動状況は、出動件数 15 件、活動件数 9 件で 10 人を救助した。

これは前年と比較して、出動件数は同じで、救助人員が 1 人増加している。

(2) 事故種別

出動件数 15 件を事故種別ごとに見ると、交通事故によるものが最も多く 11 件 (73.3%)、次いでその他の事故 4 件 (26.7%) となっている。

(3) 傷病程度

救助人員 10 人を傷病程度別に見ると、重症 2 人 (20.0%)、軽症 6 人 (60.0%)、不搬送 2 人 (20.0%) となっている。

事故種別活動状況

平成30年中

事故種別 内 訳	火 災	交 通 事 故	水 難	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計
出動件数		11							4	15
活動件数		6							3	9
救助人員		7							3	10
延出動車両		21							10	31
延出動人員		60							25	85

傷病程度別救助人員

平成30年中

事故種別 傷病程度	火 災	交 通 事 故	水 難	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計
死亡										
重症									2	2
中等症										
軽症		5							1	6
その他										
不搬送		2								2
合 計		7							3	10

発生場所別救助人員

平成30年中

事故種別		火災	交通事故	水難	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計	
発生場所												
屋内	住居											
	その他の屋内											
屋外	高速道路											
	その他の道路		7							1	8	
	水面	内水面										
		外水面										
	山岳											
	その他の屋外									2	2	
地下												
その他												
合計			7							3	10	

地域別出動状況

平成30年中

事故種別		火災	交通事故	水難	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計
地域別											
宮之城			5							2	7
鶴田			2							1	3
薩摩			4							1	5
管外											
合計			11							4	15

通 信

高機能消防指令センター構成図

消防通信

消防無線状況

専用回線（119番）着信状況

災害別覚知状況

月別医療機関照会状況

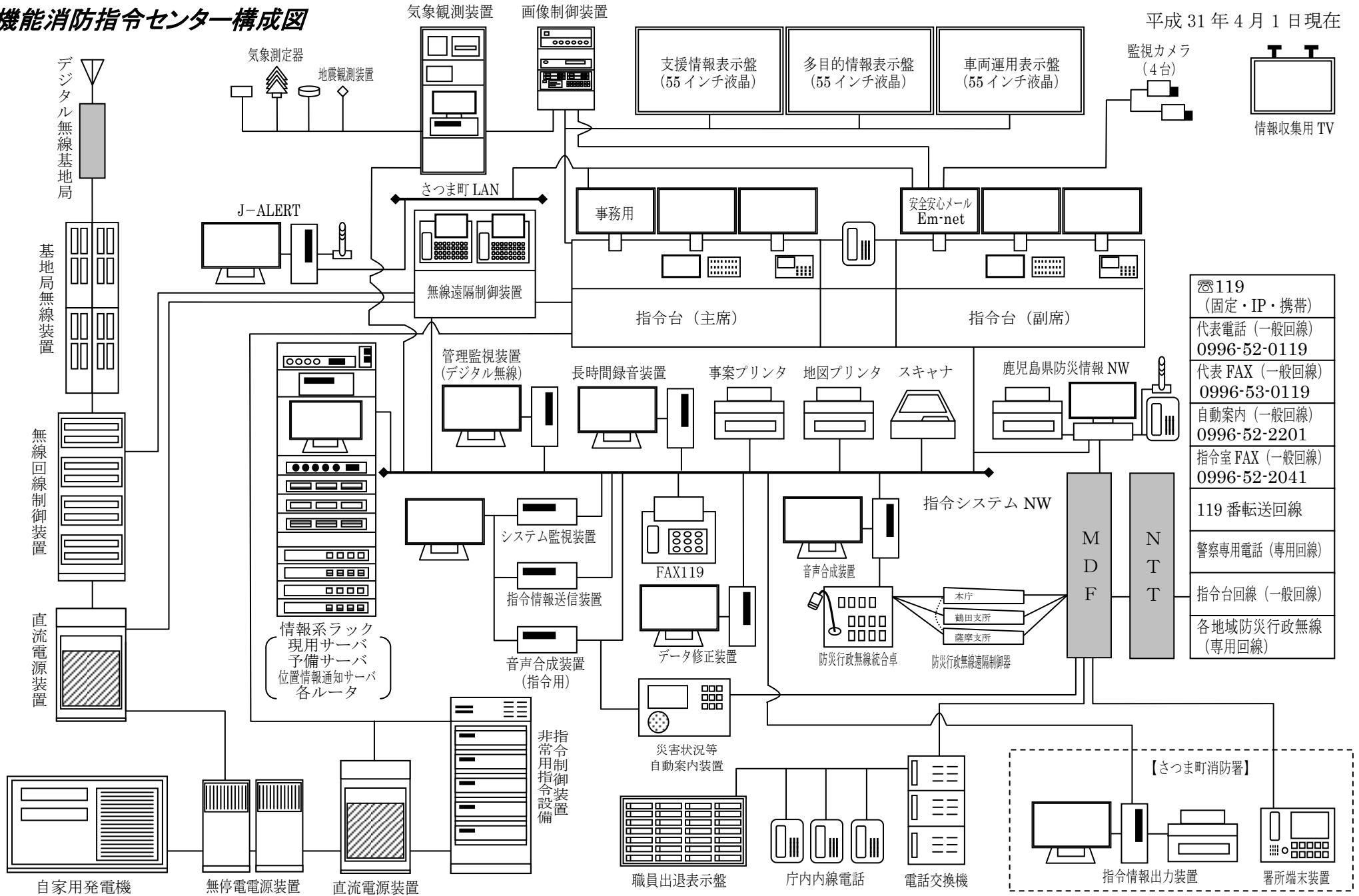
曜日別医療機関照会状況

災害等自動案内利用状況

防災行政無線設置場所一覧（屋外）

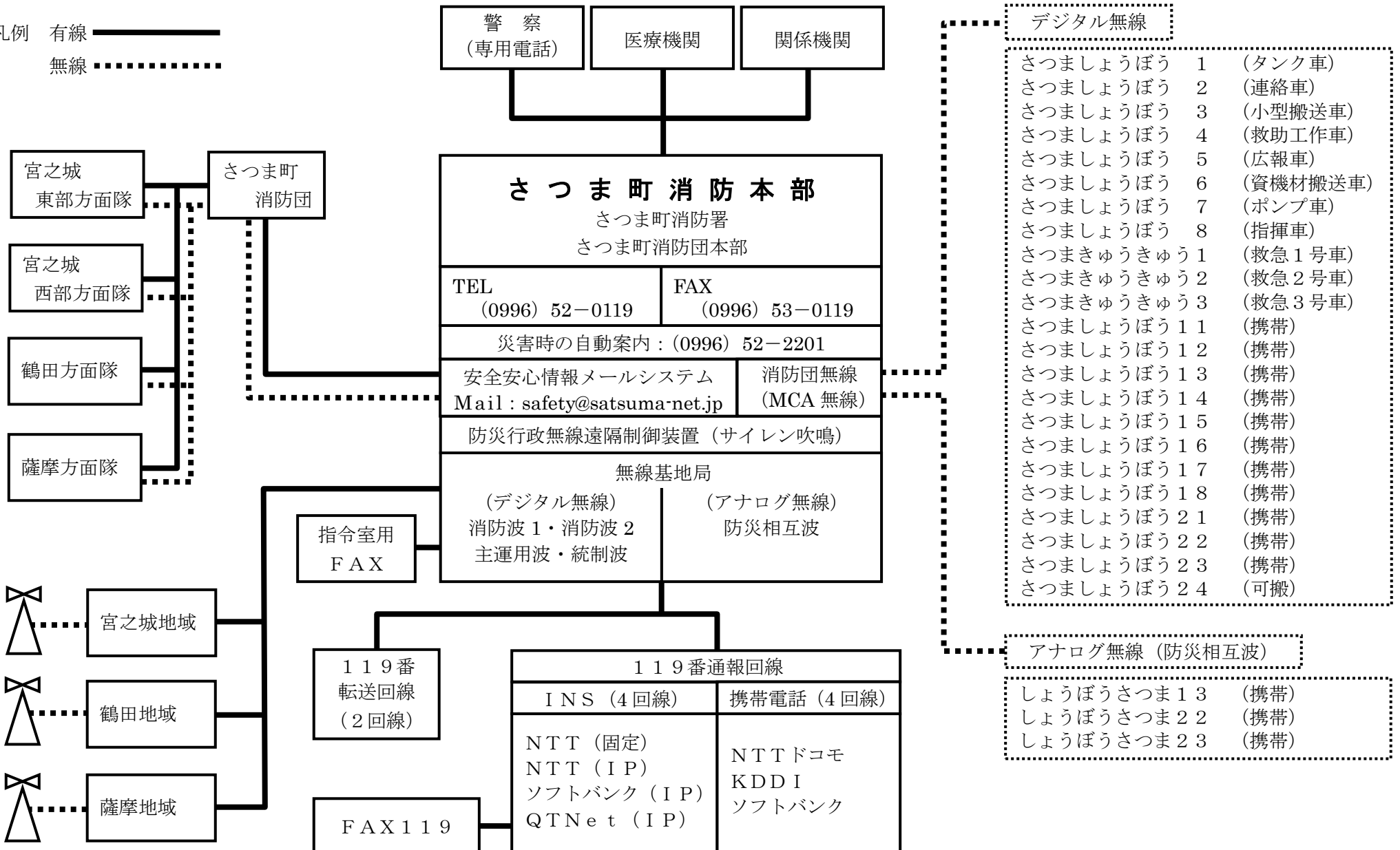
高機能消防指令センター構成図

平成 31 年 4 月 1 日現在



☎119 (固定・IP・携帯)
代表電話 (一般回線) 0996-52-0119
代表FAX (一般回線) 0996-53-0119
自動案内 (一般回線) 0996-52-2201
指令室FAX (一般回線) 0996-52-2041
119番転送回線
警察専用電話 (専用回線)
指令台回線 (一般回線)
各地域防災行政無線 (専用回線)

凡例 有線 —————
無線 - - - - -



消防無線状況

デジタル無線

平成31年4月1日現在

区分 種別	呼出名称	免許番号	出力	有効期間	備考
基地局	さつましょうぼう	九基第 320084号	20W	令和1年5月31日	本部
陸 上 移 動 局	さつましょうぼう1	九移第 10118497号	10W	令和1年5月31日	タンク車
	さつましょうぼう2	九移第 10118498号	10W	令和1年5月31日	連絡車
	さつましょうぼう3	九移第 10118499号	10W	令和1年5月31日	小型搬送車
	さつましょうぼう4	九移第 10118500号	10W	令和1年5月31日	救助工作車
	さつましょうぼう5	九移第 10118501号	10W	令和1年5月31日	広報車
	さつましょうぼう6	九移第 10118502号	10W	令和1年5月31日	資機材搬送車
	さつましょうぼう7	九移第 10118503号	10W	令和1年5月31日	ポンプ車
	さつましょうぼう8	九移第 10118504号	10W	令和1年5月31日	指揮車
	さつまきゅうきゅう1	九移第 10118505号	10W	令和1年5月31日	救急1号車
	さつまきゅうきゅう2	九移第 10118506号	10W	令和1年5月31日	救急2号車
	さつまきゅうきゅう3	九移第 10118507号	10W	令和1年5月31日	救急3号車
	さつましょうぼう11	九移第 10118508号	5W	令和1年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう12	九移第 10118509号	5W	令和1年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう13	九移第 10118510号	5W	令和1年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう14	九移第 10118511号	5W	令和1年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう15	九移第 10118512号	5W	令和1年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう16	九移第 10118513号	5W	令和1年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう17	九移第 10118514号	5W	令和1年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう18	九移第 10118515号	5W	令和1年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう21	九移第 10118516号	5W	令和1年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう22	九移第 10118517号	5W	令和1年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう23	九移第 10118518号	5W	令和1年5月31日	携帯型
	さつましょうぼう24	九移第 10118519号	10W	令和1年5月31日	可搬型

アナログ無線 (防災相互波)

平成31年4月1日現在

区分 種別	呼出名称	免許番号	出力	有効期間	備考
陸 上 移 動 局	しょうぼうさつま13	九移第 172096号	5W	令和3年5月31日	携帯型
	しょうぼうさつま22	九移第 175518号	5W	令和3年5月31日	携帯型
	しょうぼうさつま23	九移第 176014号	5W	令和3年5月31日	携帯型

専用回線(119番)着信状況

平成30年中

区分 月	災害通報	第2報	間違い	いたずら	問い合わせ	通報訓練	病院照会	取り消し	非常通報試験	鳴動	誤報	転送	合計
29年	902	29	76	24	61	214	80	12	125	25	9	18	1,575
30年	749	38	60	6	43	250	73	15	102	45	6	18	1,405
1月	71	1	4	2	4	8	8	2	7	3	1	4	115
2月	55	4	5	1	2	36	9	5	4	1		1	123
3月	47	9	10		2	28	6	3	9	3	1	4	122
4月	54	2	2		4	13	8		18	2		2	105
5月	61	3	4		2	10	3	2	4	5		1	95
6月	47	1	6		2	15	4		10	6		1	92
7月	81	3	6	1	6	16	10		5	7	1	1	137
8月	82	2	3		5	28	6	2	10	4		1	143
9月	51		5		4	13	7		5	4			89
10月	72	5	5		2	34	2	1	11	5	1	1	139
11月	71	5	5		4	31	6		12	2	2	1	139
12月	57	3	5	2	6	18	4		7	3		1	106

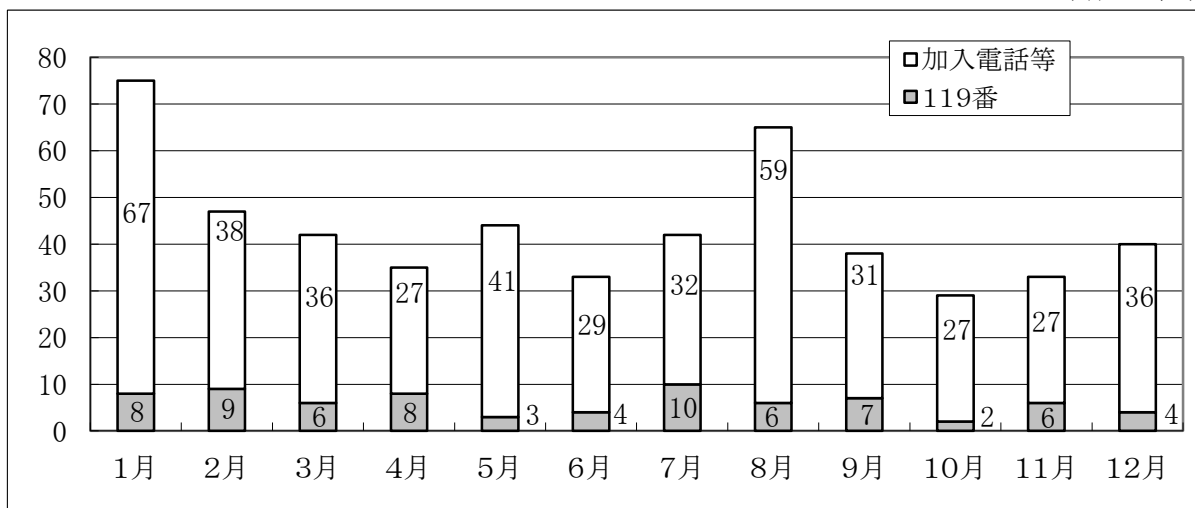
災害別覚知状況

平成30年中

月別 区分		29年	30年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		火災	119番	7	7		1	1		1		1	1		
加入電話	5		2			1	1								
事後聞知	2														
駆け付け															
その他															
救急	119番	747	739	70	52	46	54	59	47	81	81	52	73	69	55
	加入電話	309	298	24	23	23	26	23	23	23	33	16	17	24	43
	駆け付け	6	20	3	2		1	1	2	1	1		6	1	2
	その他	17	13	1	2	1	1	1	2		1	1		3	
救助	119番	12	12		2	1	1	2		1		1	2	1	1
	加入電話	3	3					1			1		1		
	駆け付け														
	その他														
その他	119番	136	133	11	14	7	11	9	12	16	9	12	9	12	11
	加入電話	25	40	3	3	1	4	2	7	4	1	1	7	3	4
	駆け付け		1									1			
	その他	17	15		1	1	1		3		2	3	3	1	
合計	119番	902	891	81	69	55	66	71	59	99	91	65	84	82	69
	加入電話	342	343	27	26	25	31	26	30	27	35	17	25	27	47
	事後聞知	2													
	駆け付け	6	21	3	2		1	1	2	1	1	1	6	1	2
	その他	34	28	1	3	2	2	1	5		3	4	3	4	
	合計	1,286	1,283	112	100	82	100	99	96	127	130	87	118	114	118

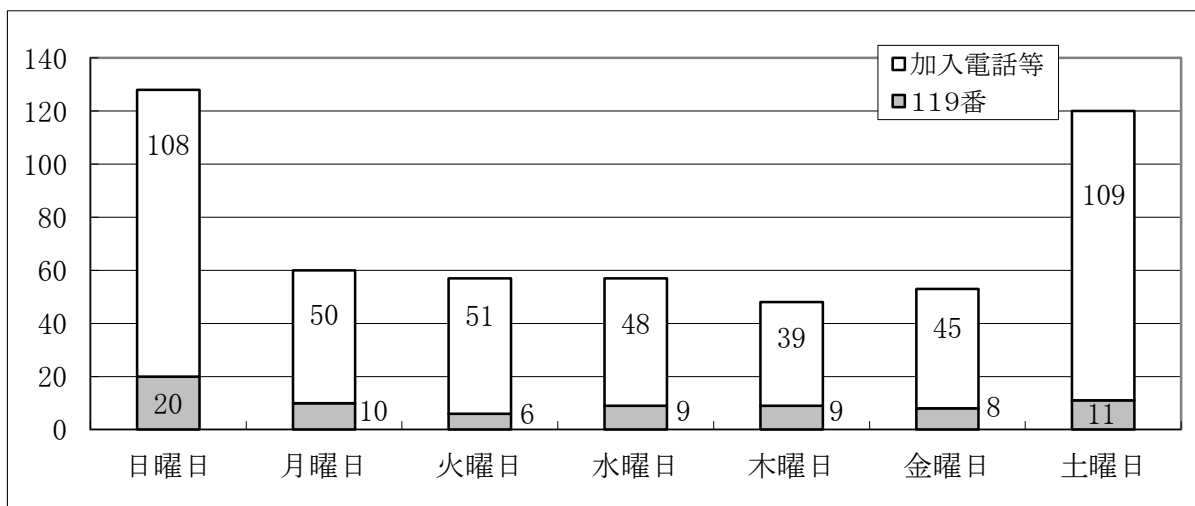
月別医療機関照会状況

平成30年中



曜日別医療機関照会状況

平成30年中



災害等自動案内利用状況

平成30年中

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
案内回数	379	712	639	827	587	415	717	500	543	708	432	620	7,079

防災行政無線設置場所一覧（屋外）

宮之城地域

平成31年4月1日現在

名称	設置場所	名称	設置場所
帝釈天	宮之城屋地1, 627	山崎	山崎42
虎居	西新町11-3	荒瀬	山崎3, 286
轟町	轟町14	二渡	二渡4, 324
下川口	虎居5, 732	須杭	二渡1, 386
甫立	虎居2, 638	折小野	二渡2, 014
船木	船木775-3	白男川	白男川2, 657
下船木	船木2, 574	浅井野	白男川3, 189
時吉	時吉1, 525-1	角郷	久富木1, 892
下湯田	湯田203	北原	久富木5, 008
湯之元	湯田1, 253-1	大長	久富木3, 366
佐志	広瀬232	平川	平川1, 959
田原	田原35	大薄	平川6, 389-1
木渋	広瀬5, 038	柁野	柁野536-4
青芝野	広瀬3, 242-3	泊野	泊野941

鶴田地域

名称	設置場所	名称	設置場所
門前	紫尾1, 665-1	高嶺	神子1, 240
岩之上	紫尾126	大野	神子2, 190
下手	紫尾4, 062	麓	鶴田3, 325
京塚原	柏原2, 374-7	樋脇	鶴田1, 838
市場	柏原2, 641	鶴田大角	鶴田3, 002
種子田	柏原3, 807	浦川内	鶴田4, 194
上川口	柏原4, 751	上場	鶴田6, 141
大俣	神子4, 922	山神	鶴田5, 123-2
栗野	神子5, 001	湯田原	神子663-1【鶴田支所屋上】

薩摩地域

名称	設置場所	名称	設置場所
下手	求名778-6	別野	中津川3, 015
広橋	求名12, 743-1	北方町	中津川9, 567-1
黒鳥	求名13, 827-3	築平	永野326-2
町	求名3, 627-1	池山	永野5, 828-2
橋掛	求名4, 737	金山	永野3, 681-3
下狩宿	求名5, 796	丁町	永野847-3
熊田	求名9, 676-1	平田	永野3, 322-11
弓之尾	中津川1, 926-2	薬師	永野6, 361-1
武	中津川5, 161		

気 象

月別気象概況表

月別気温平年比較表

月別降雨量平年比較表

月別湿度平年比較表

月別風速平年比較表

火災気象通報及び気象警報発表時おける火災発生状況

※消防署内気象観測装置不具合のため、3月から6月の気象データについては、気象庁HPから柏原気象観測所のデータを引用（柏原気象観測所は湿度計の設置無し）

<平成30年気象一目統計>

※ 気象観測場所 鹿児島県薩摩郡さつま町時吉366番地

さつま町消防本部

東経 130° 28′

北緯 31° 54′

標高 36.23m

※ 年間平均気温 16.70 °C

※ 年間平均湿度 86.21 %

※ 年間平均風速 1.77 m/s

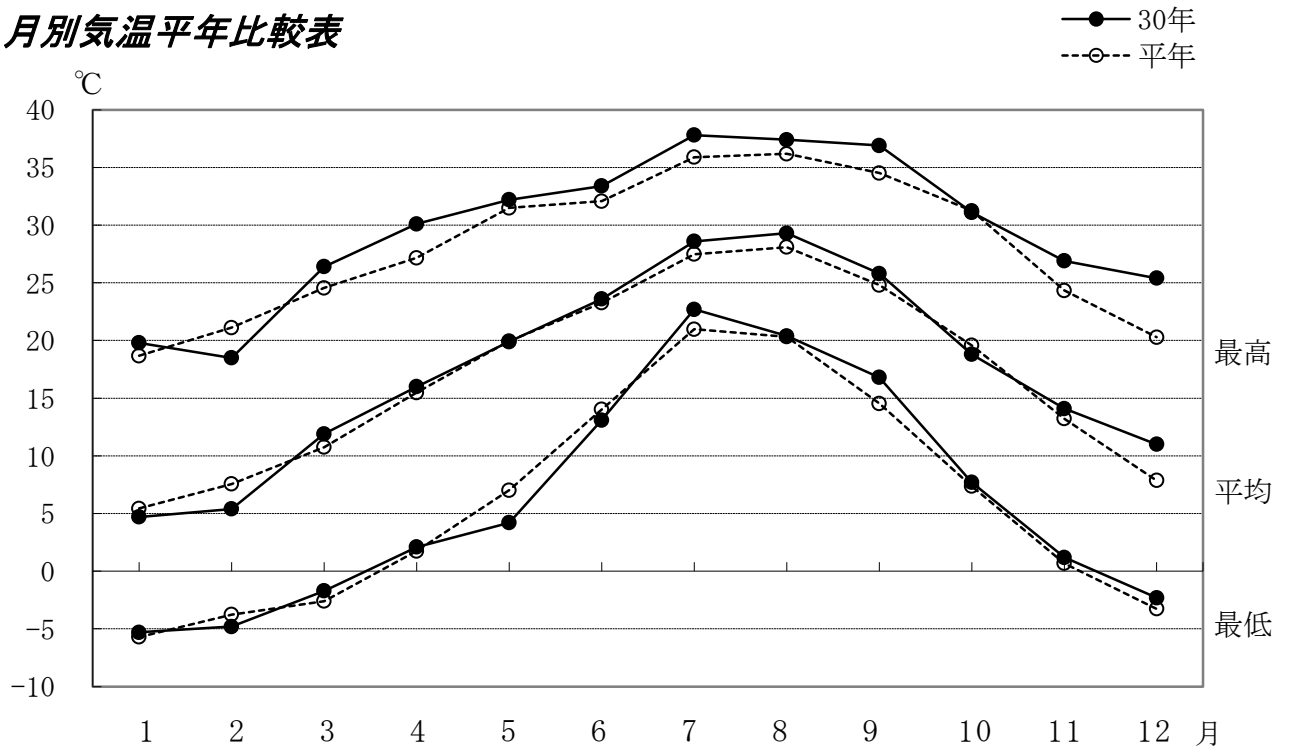
※ 年間平均雨量 8.37 mm/日

月別気象概況表

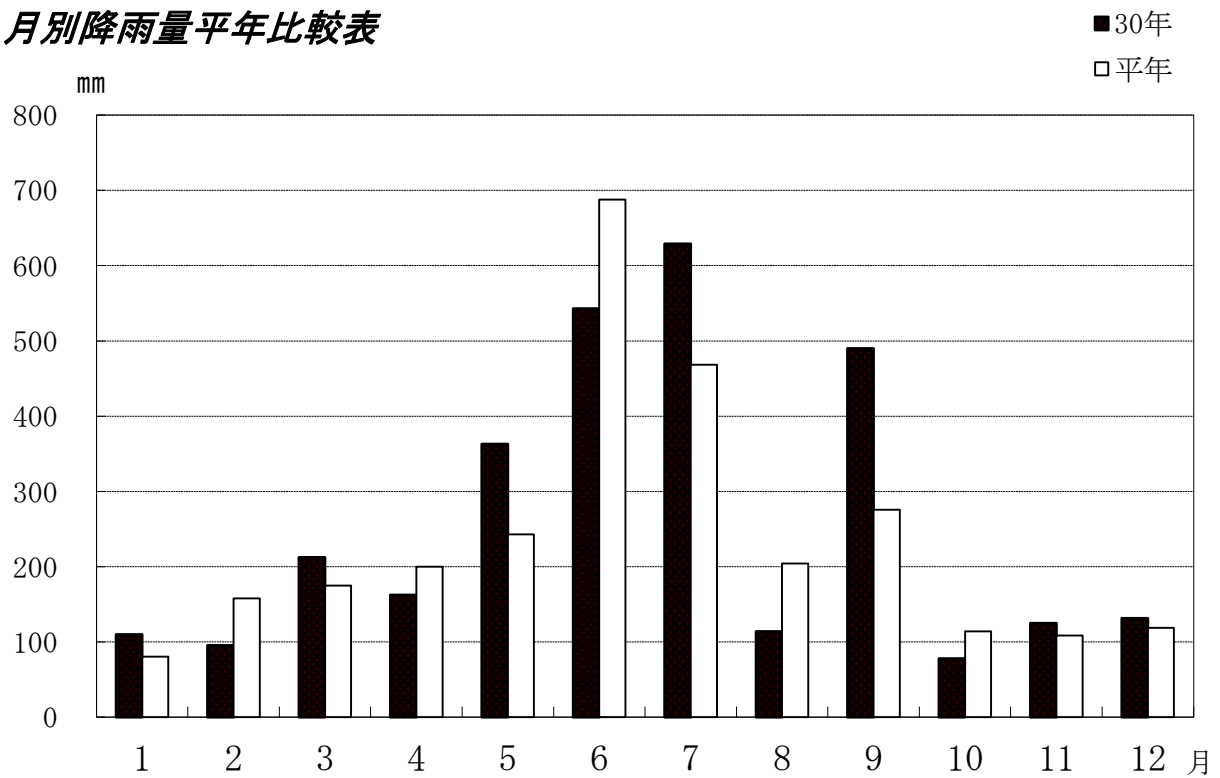
平成30年中

区分 月別	気温 (°C)			湿度 (%)		風速 (m/s)		雨量 (mm)		
	平均	最高	最低	平均	最低	平均	最大	時間最大	日最大	総雨量
1月	4.7	19.8	-5.3	81.2	25.4	2.2	15.6	11.0	34.5	110.0
2月	5.4	18.5	-4.8	82.0	12.2	2.2	19.7	12.0	24.0	95.5
3月	11.9	26.4	-1.7			1.6	17.0	22.0	50.5	212.5
4月	16.0	30.1	2.1			1.4	19.6	14.5	63.0	162.5
5月	19.9	32.2	4.2			1.4	14.3	28.5	135.0	363.0
6月	23.6	33.4	13.1			1.3	13.6	75.0	198.0	543.0
7月	28.6	37.8	22.7	89.5	53.3	2.3	22.6	65.0	116.0	629.0
8月	29.3	37.4	20.4	86.6	50.4	2.1	24.9	46.0	65.5	114.0
9月	25.8	36.9	16.8	90.9	49.2	1.8	40.9	54.0	182.0	490.0
10月	18.8	31.1	7.7	85.6	32.2	1.7	19.0	11.0	22.0	78.0
11月	14.1	26.9	1.2	87.5	32.6	1.4	13.1	11.0	34.5	125.0
12月	11.0	25.4	-2.3	86.4	33.0	1.8	14.5	16.0	62.0	131.5
区分	月日			時間		数値		警報		
最高気温	7月25日			13時19分		37.8 °C				
最低気温	1月27日			6時31分		-5.3 °C				
最小湿度	2月18日			13時26分		12.2 %				
最大瞬間風速	9月30日			11時49分		40.9 m/s		大雨・暴風警報(台風24号)		
最大時間雨量	6月19日			17時35分~18時35分		75.0 mm				
最大日雨量	6月20日					198.0 mm				
年間総雨量						3,054.0 mm				

月別気温平年比較表

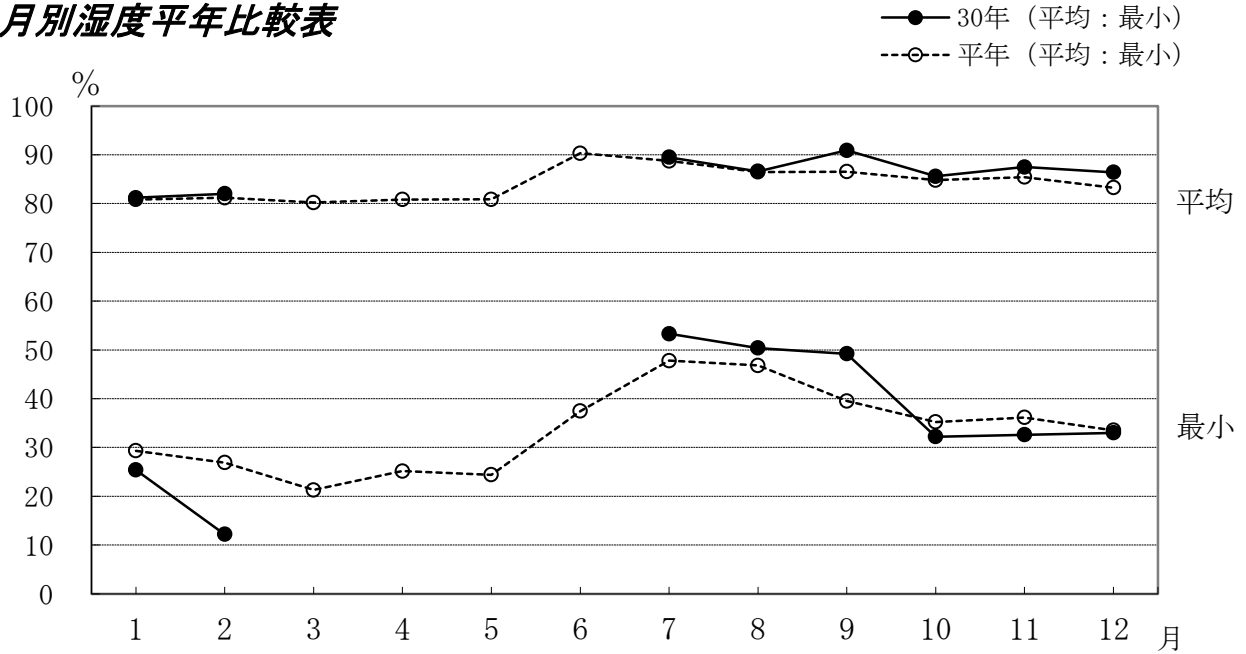


月別降雨量平年比較表

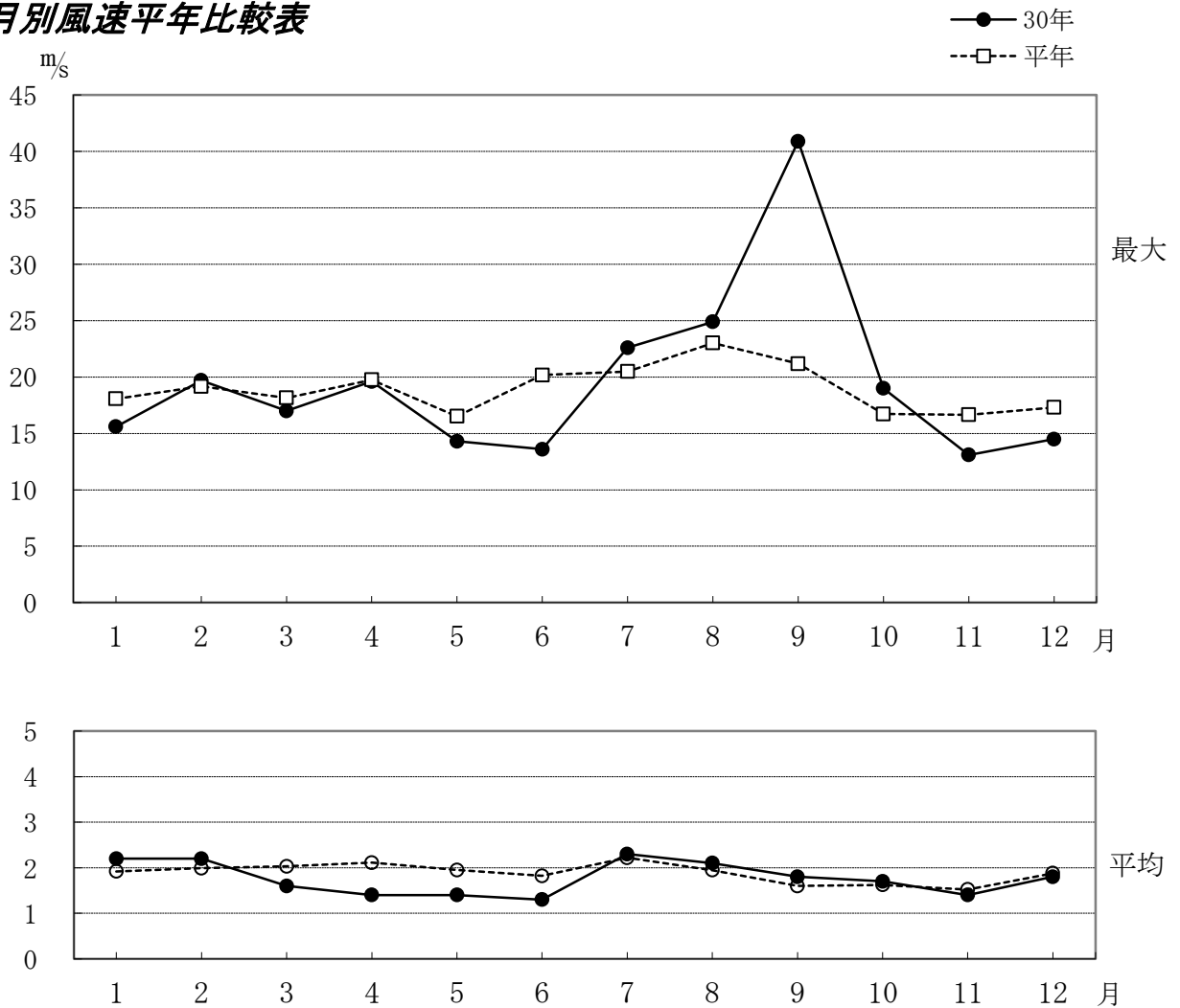


※ 平年のデータは過去10年間の平均値

月別湿度平年比較表



月別風速平年比較表



※ 平年のデータは過去10年間の平均値

火災気象通報及び気象警報発表時における火災発生状況

平成 30 年中

火災 番号	月 日	火災種別	被害状況	気 象 状 況				備 考
				天気	気温	湿度	風速	
1	2 月 23 日	その他	枯草及びビニール ハウス焼損	晴れ	12℃	40%	6 m/s	火災気象通報
5	5 月 4 日	その他	休耕田及び法面の 枯草を焼損	晴れ	20℃	未計測	4 m/s	火災気象通報
9	12 月 29 日	その他	休耕田の枯草を 焼損	晴れ	9℃	45%	7 m/s	火災気象通報

消防団

消防団の沿革

消防団の現勢

団員の階級別人員

団員の報酬（年額）

団員の手当（1回当り）

団員の勤続年数

団員の年齢

消防機械

消防団配置図

消防団出動区分

消防団の沿革

- 平成17年 3月 市町村合併により、宮之城町消防団、鶴田町消防団、薩摩町消防団解散
新町「さつま町」発足と同時にさつま町消防団4方面隊、定数542名で組織
櫛山健一氏 初代団長に就任
- 平成17年 5月 さつま町消防団発足式
- 平成18年 7月 鹿児島県北部豪雨災害発生
- 平成18年10月 虎居分団消防自動車（A-2級）購入
- 平成19年 2月 防災功労者消防庁長官表彰を受章
- 平成19年 3月 役場分団解団し定数526名に改正
- 平成19年 9月 柗野分団ポンプ積載車購入
防災功労者内閣総理大臣表彰を受章
- 平成19年10月 MCA無線を全分団に配備
- 平成20年 3月 薩摩方面隊求名分団、中津川分団、永野分団の部制を廃止
- 平成20年 4月 分団再編により定数483名に改正
薩摩方面隊に南求名分団を新設し、4分団121名で組織
- 平成21年 4月 萩木場光三氏 2代団長に就任
- 平成21年10月 柏原分団車庫完成
- 平成23年 2月 虎居分団車庫完成
- 平成23年 4月 末吉義人氏 3代団長に就任
- 平成23年10月 中津川分団消防自動車（A-2級）購入
- 平成24年 3月 川原分団車庫完成
- 平成24年 4月 副団長及び薩摩方面隊の定数改正に伴い、定数を452名に改正
柗野分団を鶴田方面隊に編入し、5分団103名で組織
- 平成24年10月 求名分団消防自動車（A-2級）購入
- 平成25年10月 永野分団消防自動車（A-2級）購入
- 平成25年12月 船木分団車庫完成
- 平成26年12月 川原分団消防自動車（水-1）購入
- 平成27年 3月 佐志分団車庫完成
日本消防協会会長表彰「竿頭授」を受章
- 平成27年12月 紫尾分団消防自動車（A-2級）購入
- 平成28年 3月 一ツ木分団を白男川分団に編入し、定数32名に改正
- 平成28年 8月 団本部に女性部（定数10名）を新設
白男川分団を定数25名、二渡分団を定数24名に改正
- 平成28年10月 新基準活動服運用開始
佐志分団消防自動車（A-2級）購入
- 平成29年 4月 団本部に女性部を発足
- 平成29年10月 南求名分団消防自動車（A-2級）購入
- 平成30年 4月 出勤人員均一化の為、火災出勤区分再編
- 平成30年 9月 山崎分団消防自動車（A-2級）購入
- 平成31年 4月 丸尾省吾氏 4代団長に就任

消防団の現勢

平成31年4月1日現在

区分		方面隊別					合計
		消防団本部	東宮 部之 城 方面 隊	西宮 部之 城 方面 隊	鶴 田 方面 隊	薩 摩 方面 隊	
消防分団			7	6	5	4	22
人 員	消防団員(定員)	16	112	130	103	91	452
	消防団員(実員)	13	102	115	88	90	408
機 械	消防ポンプ自動車		4	5	4	4	17
	水槽付消防自動車		1				1
	小型ポンプ積載車		2	1	1	1	5
	小型ポンプ		3	6	5	4	18

団員の報酬(年額)

平成31年4月1日現在

階級	報酬額
団長	190,600
副団長	128,300
方面隊長	106,900
分団長	94,900
副分団長	69,800
部長	50,500
班長	40,100
団員	36,500

団員の階級別人員

平成31年4月1日現在

階級		方面隊別					合計
		消防団本部	東宮 部之 城 方面 隊	西宮 部之 城 方面 隊	鶴 田 方面 隊	薩 摩 方面 隊	
団長		1					1
副団長		1					1
方面隊長		4					4
分団長			7	6	5	4	22
副分団長			7	6	5	4	22
部長		1	7	6	5	4	23
班長		1	14	12	10	8	45
団員		5	67	85	63	70	290
合計		13	102	115	88	90	408

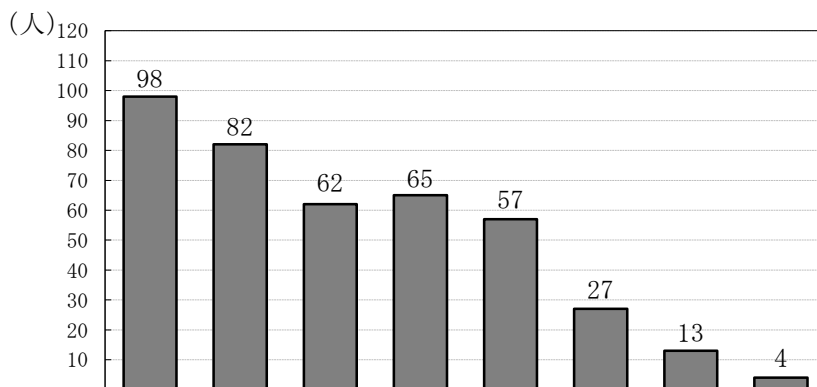
団員の手当(1回当り)

平成31年4月1日現在

区分	手当
出動手当	4,500
訓練手当	4,500
警戒手当	4,500
機関手当 (整備・運転等)	2,250
その他 (研修・出会等)	4,500

団員の勤続年数

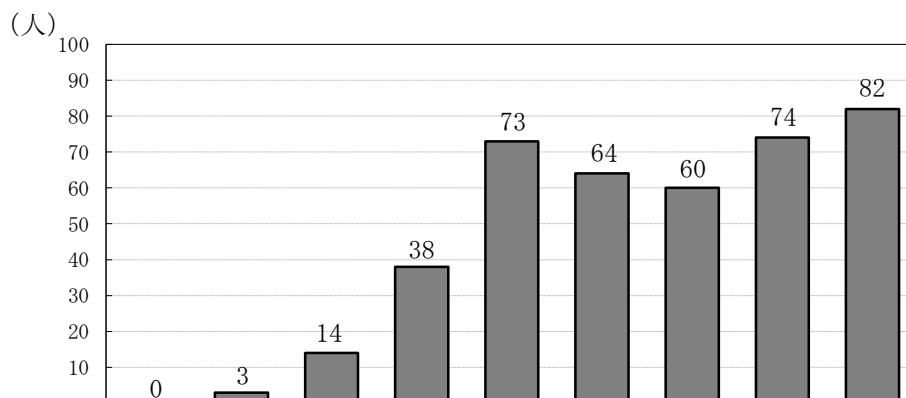
平成31年4月1日現在



階級	年数								人員計	平均年数
	5年未満	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35年以上		
団長								1	1	43
副団長							1		1	32
方面隊長						1	1	2	4	33
分団長					10	8	3	1	22	26
副分団長				5	8	4	5		22	24
部長	1			6	11	4	1		23	21
班長	1	2	6	17	12	7			45	18
団員	96	80	56	37	16	3	2		290	9
合計	98	82	62	65	57	27	13	4	408	13

団員の年齢

平成31年4月1日現在



階級	年齢									人員計	平均年齢
	20歳未満	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳以上		
団長									1	1	64
副団長									1	1	59
方面隊長									4	4	59
分団長						1		6	15	22	57
副分団長						1	1	7	13	22	55
部長						1	2	7	13	23	55
班長					3	6	9	18	9	45	50
団員		3	14	38	70	55	48	36	26	290	42
合計		3	14	38	73	64	60	74	82	408	45

消防機械

平成31年4月1日 現在

隊別	分団名	消防自動車						ポンプ積載車					小型ポンプ			
		車名	ポンプ名	ポンプ級別	乗車定員	購入年月	経過年月	車名	排気量(CC)	乗車定員	購入年月	経過年月	ポンプ名	ポンプ級別	購入年月	経過年月
宮之城東部方面隊	中央分団	三菱	日本ドライ	A-2	10人	H8年11月	22年4月									
	虎居分団	日野	モリタ	A-2	10人	H18年10月	12年5月									
	川原分団	いすゞ	モリタ	A-2	7人	H26年12月	4年3月									
	時吉分団							トヨタ	3,000	9人	H13年12月	17年3月	シバウラ	B-3	H29年9月	1年6月
	船木分団							日産	3,000	9人	H16年12月	14年3月	トーハツ	B-3	H20年6月	10年9月
	佐志分団	日野	モリタ	A-2	8人	H28年9月	2年6月						ラビット	B-3	H28年8月	2年7月
	湯田分団	三菱	GM	A-2	8人	H9年11月	21年4月									
宮之城西部方面隊	山崎分団	日野	モリタ	A-2	8人	H30年9月	0年6月						ラビット	B-3	H27年9月	3年6月
	二渡分団	日産	モリタ	A-2	7人	H11年2月	20年1月						ラビット	B-3	H14年5月	16年10月
	久富木分団	トヨタ	モリタ	A-2	7人	H12年3月	19年0月						シバウラ	B-3	H23年8月	7年7月
	平川分団	いすゞ	モリタ	A-2	6人	H11年11月	19年4月						ラビット	B-3	H22年6月	8年9月
	白男川分団	三菱	GM	A-2	8人	H16年3月	15年0月						トーハツ	B-3	H24年5月	6年10月
	泊野分団							三菱	3,000	9人	H13年12月	17年3月	シバウラ	B-3	H29年9月	1年6月
鶴田方面隊	鶴田分団	三菱	日本ドライ	A-2	8人	H8年3月	23年0月						ラビット	B-3	H12年10月	18年5月
	神子分団	三菱	日本ドライ	A-2	8人	H8年3月	23年0月						ラビット	B-3	H27年9月	3年6月
	柏原分団	三菱	日本ドライ	A-2	8人	H8年12月	22年3月						シバウラ	B-3	H30年9月	0年6月
	紫尾分団	日野	日本ドライ	A-2	8人	H27年11月	3年4月						ラビット	B-3	H13年7月	17年8月
	柗野分団							トヨタ	3,000	9人	H12年10月	15年5月	シバウラ	B-3	H25年9月	2年6月
薩摩方面隊	永野分団	トヨタ	モリタ	A-2	8人	H25年10月	5年5月						シバウラ	B-3	H13年3月	18年0月
	求名分団	日野	日本ドライ	A-2	8人	H24年10月	6年5月	三菱	1,990	9人	H11年7月	19年8月	シバウラ	B-3	H25年9月	5年6月
	南求名分団	日野	モリタ	A-2	8人	H29年10月	1年5月						シバウラ	B-3	H30年9月	0年6月
	中津川分団	日野	モリタ	A-2	8人	H23年10月	7年5月						ラビット	B-3	H28年8月	2年7月

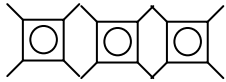
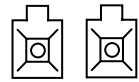
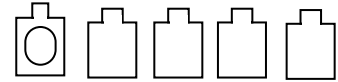
消防団配置図

平成 31 年 4 月 1 日現在

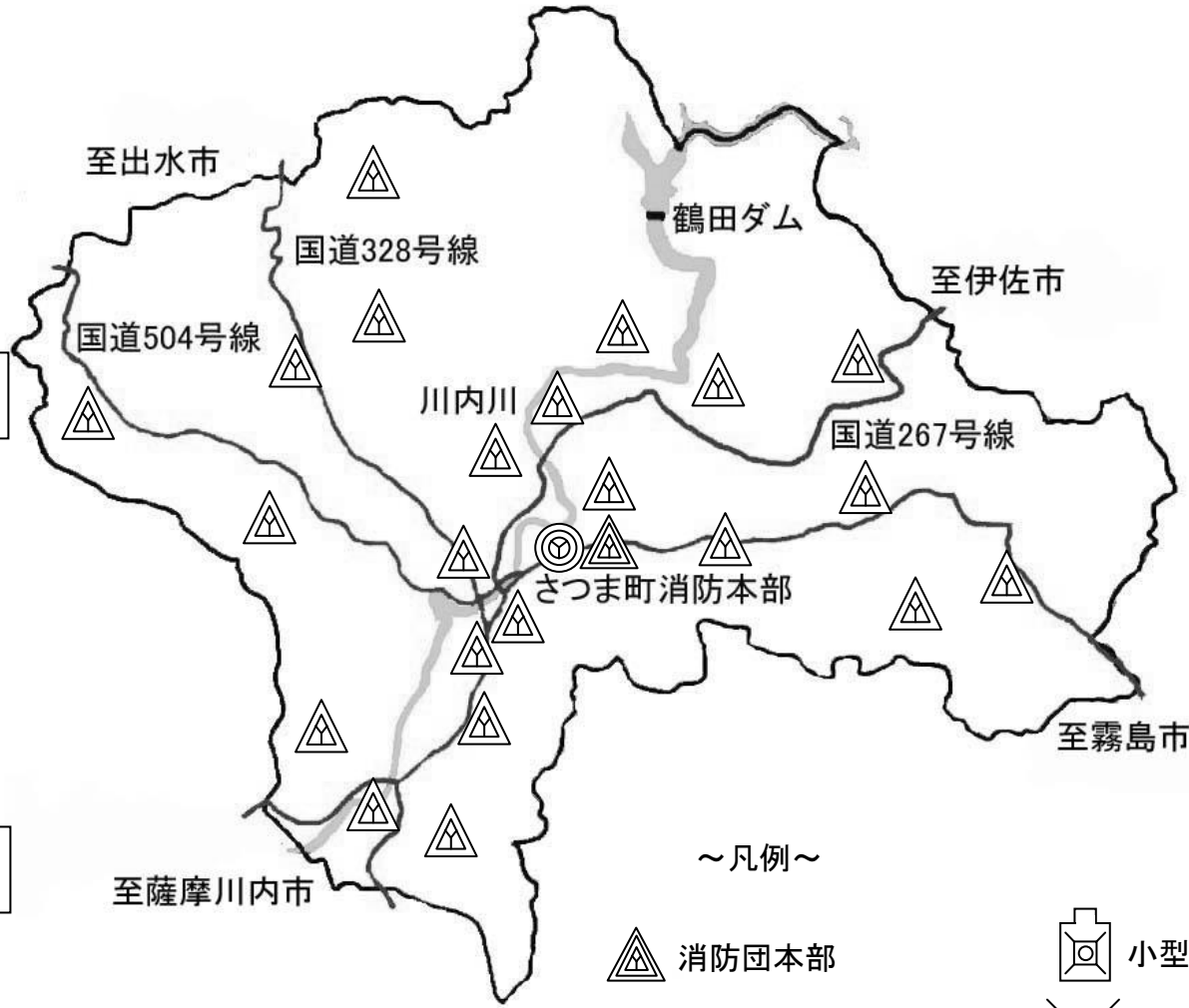
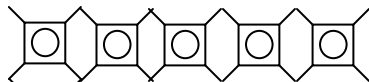
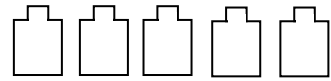
※ () は定数

消防団本部 13 名
(16 名)

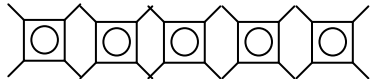
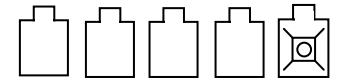
宮之城東部方面隊 102 名
(112 名)



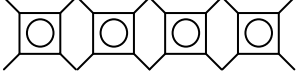
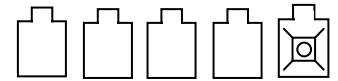
宮之城西部方面隊 115 名
(130 名)



鶴田方面隊 88 名
(103 名)



薩摩方面隊 90 名
(91 名)



～凡例～

消防団本部

消防分団

水槽付消防ポンプ自動車

消防ポンプ自動車

小型動力ポンプ積載車

小型動力ポンプ

ボート

消防団出動区分

平成 31 年 4 月 1 日現在

方面隊別	地区名	出動区分		
		第 1 次出動	第 2 次出動	第 3 次出動
宮之城東部方面隊	宮之城屋地 (中央分団管轄)	中央・川原・虎居・船木・時吉	湯田・佐志・白男川	全分団出動又は出動方面隊・分団を指定
	宮之城屋地 (川原分団管轄)	川原・中央・虎居・船木・時吉	湯田・佐志・柏原	
	虎居 (虎居分団管轄)	虎居・中央・川原・時吉・柏原	湯田・佐志・船木	
	船木	船木・中央・川原・山崎・久富木	虎居・時吉・佐志	
	時吉	時吉・湯田・佐志・川原・虎居	中央・船木・柏原	
	湯田	湯田・時吉・佐志・鶴田・柏原	中央・虎居・神子	
	佐志	佐志・時吉・湯田・川原・南求名	中央・虎居・求名	
宮之城西部方面隊	山崎	山崎・二渡・久富木・船木	白男川・中央・川原	
	二渡	二渡・山崎・久富木・白男川	中央・川原・船木	
	久富木	久富木・山崎・二渡・船木	白男川・中央・川原	
	平川	平川・白男川・泊野・紫尾	虎居・柏原・柵野	
	白男川	白男川・平川・泊野・二渡	山崎・中央・虎居	
	虎居 (白男川分団管轄)			
	泊野	泊野・平川・白男川・虎居	二渡・中央・紫尾	
鶴田方面隊	鶴田	鶴田・神子・柏原・湯田	紫尾・柵野・求名	
	神子	神子・鶴田・柏原・柵野	紫尾・湯田・求名	
	柏原	柏原・神子・紫尾・湯田	鶴田・柵野・虎居	
	紫尾	紫尾・柏原・柵野・平川	鶴田・神子・虎居	
	柵野	柵野・柏原・紫尾・神子	鶴田・湯田・平川	
薩摩方面隊	求名 (求名分団管轄)	求名・南求名・永野・鶴田	中津川・佐志・神子	
	求名 (南求名分団管轄)	南求名・求名・中津川・永野	時吉・佐志・鶴田	
	中津川	中津川・南求名・永野・佐志	求名・時吉・鶴田	
	永野	永野・南求名・中津川・求名	時吉・佐志・鶴田	

消防協力団体

婦人防火クラブ

幼年消防クラブ

消防災害支援隊

自主防災組織

さつま町危険物安全協会

消防協力団体

婦人防火クラブ

平成31年4月1日現在

クラブ名	地域別	結成年月日	クラブ員数
あさひこども園婦人防火クラブ	鶴田	平成8年7月14日	9名
中津川婦人防火クラブ	薩摩	平成8年9月18日	10名
しびこども園婦人防火クラブ	鶴田	平成20年4月1日	12名
つるだ同朋子ども園婦人防火クラブ	鶴田	平成22年4月1日	21名
合計 4クラブ			52名

幼年消防クラブ

平成31年4月1日現在

クラブ名	地域別	結成年月日	クラブ員数
吉祥保育園幼年消防クラブ	宮之城	昭和63年9月1日	37名
あさひこども園幼年消防クラブ	鶴田	平成2年12月18日	22名
恵光保育園幼年消防クラブ	薩摩	平成4年3月25日	19名
つるだ同朋子ども園幼年消防クラブ	鶴田	平成19年4月1日	21名
しびこども園幼年消防クラブ	鶴田	平成20年4月1日	12名
合計 5クラブ			111名

消防災害支援隊

平成31年4月1日現在

支援隊名	方面隊別	結成年月日	隊員数
永野分団消防災害支援隊	薩摩	平成20年5月15日	25名
中央分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成20年6月13日	9名
船木分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成20年7月5日	10名
紫尾分団消防災害支援隊	鶴田	平成20年7月12日	11名
久富木分団消防災害支援隊	宮之城西部	平成20年12月8日	20名
佐志分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成20年12月24日	11名
山崎分団消防災害支援隊	宮之城西部	平成21年2月10日	12名
平川分団消防災害支援隊	宮之城西部	平成21年2月24日	18名
神子分団消防災害支援隊	鶴田	平成21年3月2日	19名
二渡分団消防災害支援隊	宮之城西部	平成21年3月19日	27名
白男川分団消防災害支援隊	宮之城西部	平成21年3月24日	22名
川原分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成21年8月21日	7名
鶴田分団消防災害支援隊	鶴田	平成21年11月6日	18名
柁野分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成21年11月17日	16名
中津川分団消防災害支援隊	薩摩	平成21年12月11日	38名
虎居分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成21年12月12日	8名
湯田分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成21年12月20日	12名
時吉分団消防災害支援隊	宮之城東部	平成22年2月7日	7名
求名分団消防災害支援隊	薩摩	平成22年3月29日	30名
南求名分団消防災害支援隊	薩摩	平成22年3月29日	21名
泊野分団消防災害支援隊	宮之城西部	平成22年4月16日	6名
柏原分団消防災害支援隊	鶴田	平成22年7月29日	10名
合計 22団体			357名

自主防災組織

宮之城

平成31年4月1日現在

地区	組織名	結成年月日	地区	組織名	結成年月日		
宮之城 屋地	城之口自主防災組織	平成15年 4月 1日	平川	下平川自主防災組織	平成14年 4月 1日		
	五日町自主防災組織	平成15年 4月 1日		上平川自主防災組織	平成14年 4月 1日		
	町頭自主防災組織	平成15年 4月 1日		大薄下自主防災組織	平成18年 4月 1日		
	上仲町自主防災組織	平成15年 4月 1日		大薄上自主防災組織	平成18年 4月 1日		
	天神自主防災組織	平成19年 7月 1日	湯田	湯之元自主防災組織	平成14年 4月 1日		
	屋地馬場自主防災組織	平成20年 4月 1日		湯田中自主防災組織	平成14年 4月 1日		
	八幡馬場自主防災組織	平成20年 4月 1日		湯田上自主防災組織	平成16年 4月 1日		
	愛宕自主防災組織	平成14年 4月 1日		湯田下自主防災組織	平成14年 4月 1日		
	東谷自主防災組織	平成14年 4月 1日		西湯田原自主防災組織	平成18年 4月 1日		
	川原町自主防災組織	平成14年 4月 1日	佐志	木渋自主防災組織	平成14年 4月 1日		
	中央自主防災組織	平成19年 4月 1日		仮屋原自主防災組織	平成15年 4月 1日		
	ウッドタウン自主防災組織	平成14年 4月 1日		前目自主防災組織	平成23年 7月17日		
	観月台自主防災組織	平成14年 4月 1日		広瀬自主防災組織	平成19年10月 1日		
	ホープタウン自主防災組織	平成14年 4月 1日		池之野自主防災組織	平成16年 4月 1日		
虎居町自主防災組織	平成18年 4月 1日	さくら自主防災組織		平成17年 4月 1日			
東町自主防災組織	平成14年 4月 1日	豆漬自主防災組織		平成15年 4月 1日			
西町自主防災組織	平成15年 4月 1日	布田自主防災組織		平成14年 4月 1日			
轟原自主防災組織	平成15年 4月 1日	あながわ自主防災組織		平成14年 4月 1日			
虎居馬場自主防災組織	平成 6年 4月 1日	田原自主防災組織		平成20年 8月 1日			
虎居	西手自主防災組織	平成14年 4月 1日	山崎	山崎麓自主防災組織	平成14年 4月 1日		
	上向自主防災組織	平成14年 4月 1日		山崎中自主防災組織	平成16年 4月 1日		
	上向中自主防災組織	平成14年 4月 1日		荒瀬自主防災組織	平成19年 4月 1日		
	虎居大角自主防災組織	平成14年 4月 1日	久富木	北原自主防災組織	平成14年 4月 1日		
	甫立自主防災組織	平成17年 4月 1日		大長自主防災組織	平成14年 4月 1日		
	海老川自主防災組織	平成20年 6月 1日		角郷自主防災組織	平成14年 4月 1日		
	一ツ木自主防災組織	平成14年 4月 1日		大畝町自主防災組織	平成17年 4月 1日		
	下川口自主防災組織	平成19年 7月 1日		久富木町自主防災組織	平成17年 4月 1日		
	時吉	時吉新町自主防災組織		平成16年 4月 1日	二渡	二渡町自主防災組織	平成15年 4月 1日
		時吉中城自主防災組織		平成16年 4月 1日		二渡自主防災組織	平成14年 4月 1日
船木	船木東自主防災組織	平成19年 4月 1日	須杭自主防災組織	平成20年 5月 1日			
	船木西自主防災組織	平成18年 3月19日	折小野自主防災組織	平成16年 4月 1日			
	船木下自主防災組織	平成18年 4月 1日	百男川	白男川自主防災組織	平成14年 4月 1日		
	旭自主防災組織	平成18年 4月 1日		浅井野自主防災組織	平成14年 4月 1日		
柘野	柘野上向江自主防災組織	平成20年 6月 1日	泊野	泊野高峰自主防災組織	平成14年 4月 1日		
	柘野中間下自主防災組織	平成20年 6月 1日		泊野きらら自主防災組織	平成25年 3月17日		
合計 70組織							

薩摩

平成31年4月1日現在

地区	組織名	結成年月日	地区	組織名	結成年月日
求名	下手自主防災組織	平成20年 7月 7日	中津川	別野自主防災組織	平成22年 4月 1日
	下中福良自主防災組織	平成20年 7月 7日		弓之尾自主防災組織	平成20年 4月 1日
	求名町自主防災組織	平成20年 3月 1日		尾原自主防災組織	平成20年 1月27日
	上中福良自主防災組織	平成20年 7月 7日		北方町自主防災組織	平成21年10月 1日
	橋掛自主防災組織	平成20年 7月 7日	永野	金山自主防災組織	平成16年 4月 1日
	下狩宿自主防災組織	平成20年 7月 7日		新町自主防災組織	平成19年 7月 1日
	上狩宿自主防災組織	平成20年 7月 7日		仕明自主防災組織	平成19年 7月 1日
	境田自主防災組織	平成20年 7月 7日		吉川自主防災組織	平成11年 4月 1日
	搦自主防災組織	平成20年 7月 7日		新岩元自主防災組織	平成21年 3月27日
	熊田自主防災組織	平成19年 7月 1日		築平自主防災組織	平成19年 7月 1日
	戸子田自主防災組織	平成16年 4月 1日		南川自主防災組織	平成 6年 4月 1日
	広橋自主防災組織	平成20年 7月 7日			
	黒鳥自主防災組織	平成20年 7月 7日			
	合計 24組織				

鶴田

平成31年4月1日現在

地区	組織名	結成年月日	地区	組織名	結成年月日	
鶴田	上場自主防災組織	平成10年 4月 1日	神子	栗野自主防災組織	平成11年 3月 1日	
	大平自主防災組織	平成10年 4月 1日		大俣自主防災組織	平成14年 4月 1日	
	鶴田南自主防災組織	平成10年 4月 1日		櫃ヶ迫自主防災組織	平成28年 4月23日	
	鶴田大角自主防災組織	平成11年 3月 1日	柏原	上川口自主防災組織	平成 8年 9月 1日	
	鶴田町自主防災組織	平成 8年 6月 3日		市場自主防災組織	平成18年 4月 1日	
	東善寺自主防災組織	平成 8年 6月 1日		諏訪下自主防災組織	平成18年 4月 1日	
	城内自主防災組織	平成19年 7月 1日		小路下手自主防災組織	平成 9年 3月23日	
	麓自主防災組織	平成 8年 4月 1日		大願寺自主防災組織	平成 9年 4月 1日	
	東湯田原自主防災組織	平成 9年 3月23日		下京塚原自主防災組織	平成 8年 6月 3日	
湯田原自主防災組織	平成 9年 3月23日	京塚原自主防災組織		平成 9年 4月 1日		
大野自主防災組織	平成 8年 4月 1日	種子田自主防災組織		平成11年 3月 1日		
神子	上下大迫自主防災組織	平成 9年 3月23日		紫尾	紫尾下自主防災組織	平成 9年 3月23日
	高嶺自主防災組織	平成 8年 5月 2日			紫尾中自主防災組織	平成 6年10月 1日
	中間自主防災組織	平成19年 4月 1日	紫尾上自主防災組織		平成 8年 9月 1日	
	新田自主防災組織	平成18年 4月 1日				
合計 29組織						

さつま町危険物安全協会

設立年月日：平成2年5月25日

地域別	宮之城地域	鶴田地域	薩摩地域
事業所数 (28)	19	3	6

2019年度
全国統一防火標語

ひとつずつ
いいね！で確認
火の用心

編集・発行 さつま町消防本部
〒895-1816
鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 366
TEL 0996-52-0119
FAX 0996-53-0119
Web <http://119.satsuma-net.jp/>
MAIL shobo@satsuma-net.jp